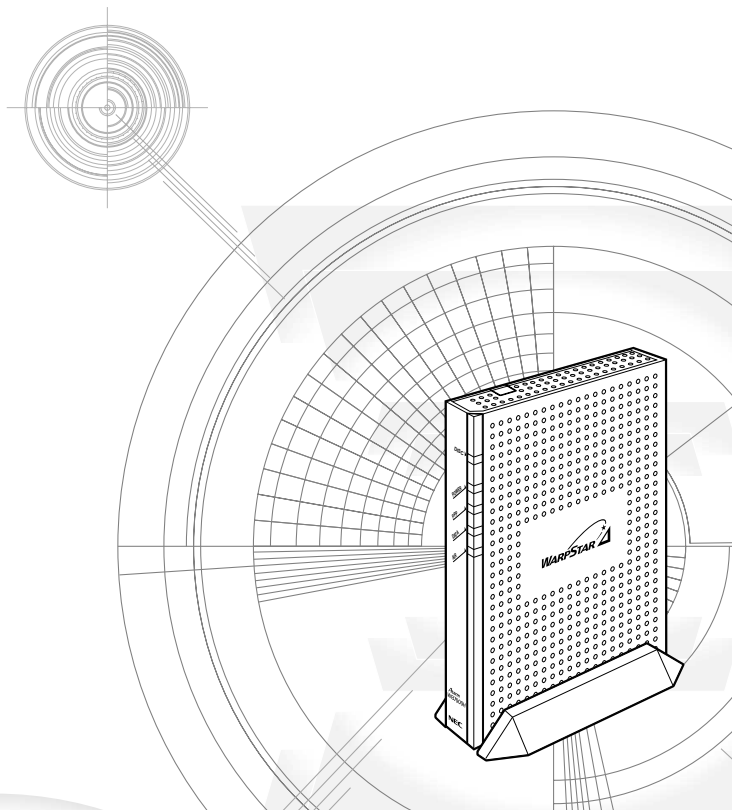
NEC

Aterm® WB7000H PA-WB7000/B

Aterm® WB7000Hワイヤレス LANセット 11bカードタイプ PA-WB7000/BC

取扱説明書

- 本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
- 「ソフトウェアのご使用条件」は、前文-2ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度は「Aterm（エーターム） WB7000H」または、「Aterm WB7000Hワイヤレス LANセット（11bカードタイプ）」をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
WARPSTAR（ワープスター）ベース「Aterm WB7000H」（以下、親機と呼びます。）は、WARPSTARサテライト「Aterm WL11CB」（以下、子機と呼びます。）とIEEE802.11bに準拠したワイヤレス通信を行うことができるワイヤレスブロードバンドルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。
本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（CD-ROM:HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

用語解説（CD-ROM:HTMLファイル）

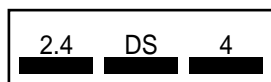
本書で使われている用語や、本商品を活用するために知っておきたい用語の解説を五十音順で検索することができます。

お困りのときには（CD-ROM:HTMLファイル）

本商品の利用中にトラブルが起きたときの対処法について書かれています。

※CD-ROMの操作方法について（☛P前文-16「電子マニュアルの見かた」）

■ワイヤレス機器の使用上の注意

- 本商品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  - （1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - （2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
  - （3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 本商品は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS　：変調方式を示す
4　：想定される干渉距離が 40m 以下であること
■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求め頂きありがとうございます。
本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客さまによるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意を頂けない場合は添付の CD-ROM を開封せずに、お求めになった取扱店に CD-ROM を含めた本商品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本商品の代金をお返しします。添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・ NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1．期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとします。

2．使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3．許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

（2） お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行ないません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠ 危　険　：**人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。**

⚠ 警　告　：**人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠ 注　意　：**人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

STOP お願い　：**本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。**

■絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警　告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

電源

● **商用電源以外の使用禁止**
AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **電源コードの取り扱い注意**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● **たこ足配線の禁止**
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

⚠ 警　告

こんなときは

● **発煙した場合**

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● **水が装置内部に入った場合**

万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異物が装置内部に入った場合**

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **電源コードが傷んだ場合**

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

● **破損した場合**

万一、落としたり破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

禁止事項

- **本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

- **分解・改造の禁止**
  本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- **ぬらすことの禁止**
  本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

- **ぬれた手での操作禁止**
  ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

- **使用禁止区域での注意**
  航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- **ペースメーカを装着されている方の注意**
  植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

- **異物を入れないための注意**
  本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

設置場所

● **火気のそばへの設置禁止**
本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **温度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● **通風孔をふさぐことの禁止**
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

● **横置き・重ね置きの禁止**
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きでご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

● **風通しの悪い場所への設置禁止**
本商品を風通しの悪い場所に置かないでください。風通しの悪い場所に設置すると本商品内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

⚠ 注　意

電源

● **プラグの取扱注意**
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **移動させるときの注意**
移動させる場合は、本体の電源スイッチを切ったあと、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **アース線の取付**
万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

● **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● **電源プラグの清掃**
電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

● **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

その他のご注意

● **雷のときの注意**
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● **取扱説明書に従って接続してください。**
間違えると接続機器が故障することがあります。

STOP お願い

設置場所

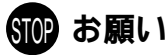
- **本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで５０ｍ～１００ｍ程度です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。**
- **本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**

禁止事項

- **動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。**
- **親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。１０秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。**

日ごろのお手入れ

- **汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。**

お願い

無線 LAN に関する注意

- 無線 LAN 接続では、通信速度が ETHERNET ポートに接続した場合と比べ遅くなることがあります。
- 無線 LAN の速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

目次

応用編　**本商品をさらに使いこなそう**

ご参考

「機能詳細ガイド」目次

添付 CD-ROM「ユーティリティ集」には本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。以下に記載されている項目を示します。電子マニュアルの見かたについては、前文-16 ページを参照してください。

※ ホームページ Aterm Station にて公開予定のアクセスマネージャのダウンロードが必要です。

電子マニュアルの見かた

「機能詳細ガイド」や、「用語解説」、「お困りのときには」は、添付 CD-ROM（ユーティリティ集）の電子マニュアルをご覧ください。

1 **パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする**

Windows® の場合は、自動的にメニュー画面が表示されます。
Macintosh の場合は、［MENU］アイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が表示されます。
ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

2 **読みたいファイルのボタンをクリックする**

※画面は Windows® の例です。

 お知らせ

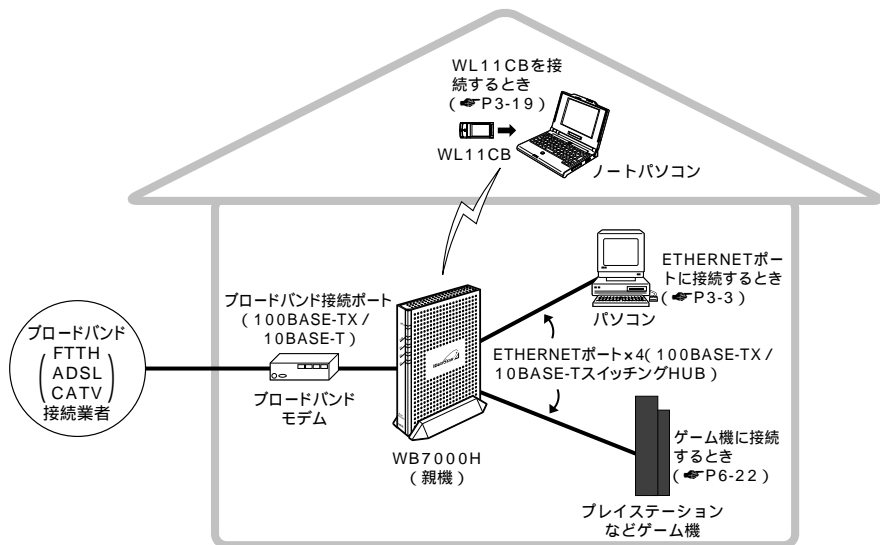
●「用語解説」または「機能詳細ガイド」、「お困りのときには」をご覧になるには、WWW ブラウザがインストールされている必要があります。

準備編 お使いになる前に

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

お使いになる前に

1-1 本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／ FTTH 回線終端装置を接続してインターネットを利用できるブロードバンドルータです。本書の「導入編」では、親機または子機に接続したパソコンでインターネットに接続するまでを案内しています。

本商品では、さらに次ページから記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

■無線 LAN 通信でできること

●できること

子機（WL11CB）から親機にワイヤレス LAN IEEE802.11b に準拠した無線接続することができます。

・子機に接続されたパソコンから電波の届く範囲ならお好きな場所からインターネット接続できます。

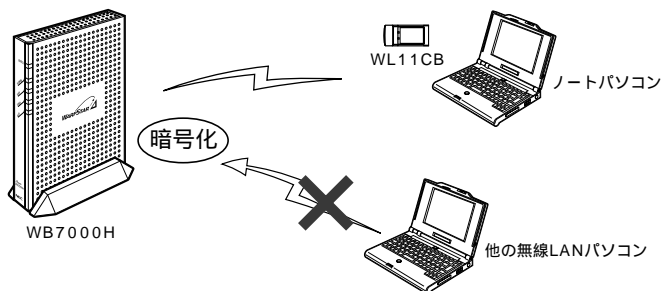
・親機に接続されたパソコンと子機に接続されたパソコン間でファイルのやりとりができます。

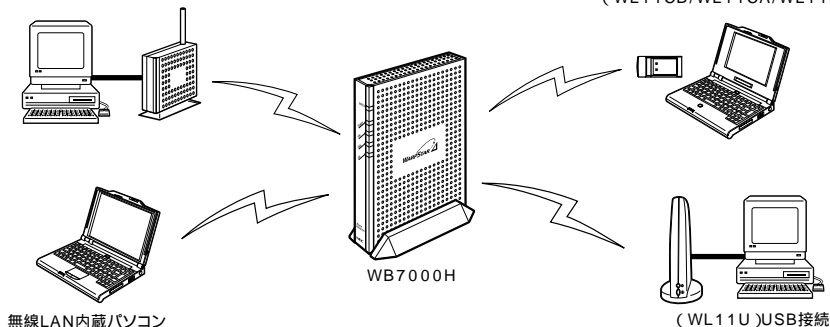
●通信速度と電波の届く範囲

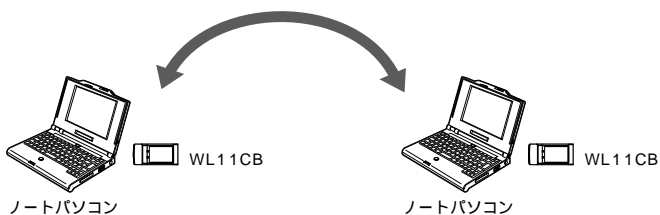
ワイヤレスで届く範囲は次のとおりです。環境によって異なります。
オープン（理想環境）160m（11Mbps）～550m（1Mbps）
セミオープン（屋外）50m（11Mbps）～115m（1Mbps）
クローズド（屋内）　25m（11Mbps）～50m（1Mbps）

●無線 LAN 内のセキュリティ対策

親子機間の通信が外から覗かれたり、親機に他の子機が無断で接続されるのを防ぐためセキュリティ対策をすることをおすすめします。
他の無線 LAN パソコンから親機に接続されるのを防いだり、親子機間の通信を暗号化して、通信のぼう受を防ぎます。（☞P6-2）

（次ページに続く）

●子機を増設する（☞P6-29）

子機として別売りのWL11CB/WL11CA/WL11C/WL11U/WL11Eを増設できます。また、同じ規格（IEEE802.11b）の無線LAN内蔵パソコンを増設できます。接続できるパソコンはETHERNETポート接続のパソコンも含めて全部で32台までです。インターネットへの同時接続利用は、10台以下でのご使用をお勧めします。増設できるWL11Eは6台までです。

●子機同士で通信する（アドホックモード）（CD-ROM 機能詳細ガイド）

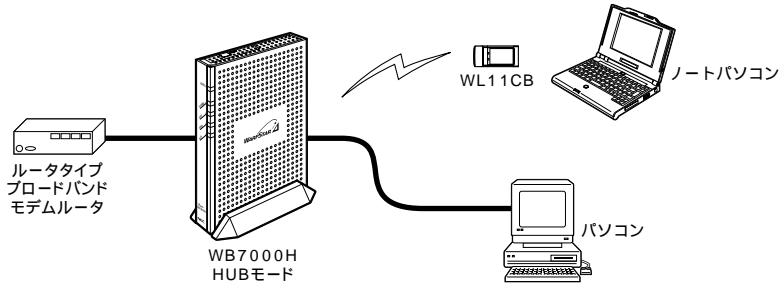
親機を経由しないで子機同士でデータ通信ができます。

■セキュリティ対策をする（☞P6-2）

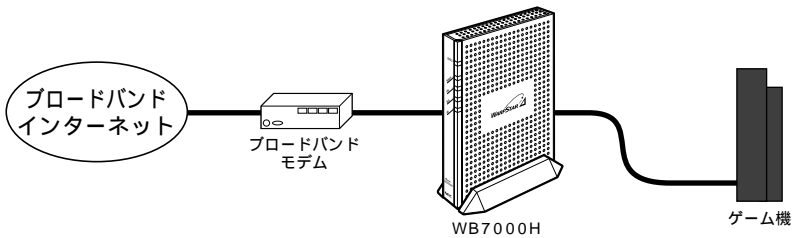
ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（CD-ROM 機能詳細ガイド）

- ・IPパケットフィルタリング
- ・IPマスカレード機能（アドバンスドNAT）
- ・不正アクセス検出
- ・ダイナミックポートコントロール機能

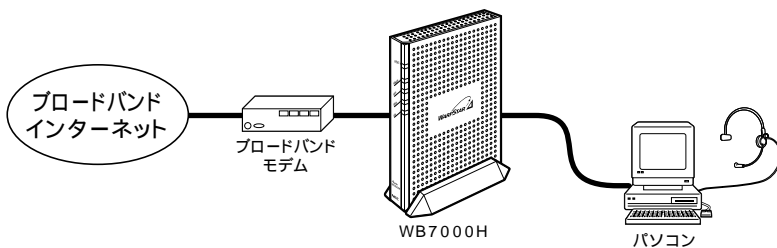
※無線LAN内のセキュリティ機能についてはP1-3を参照してください。

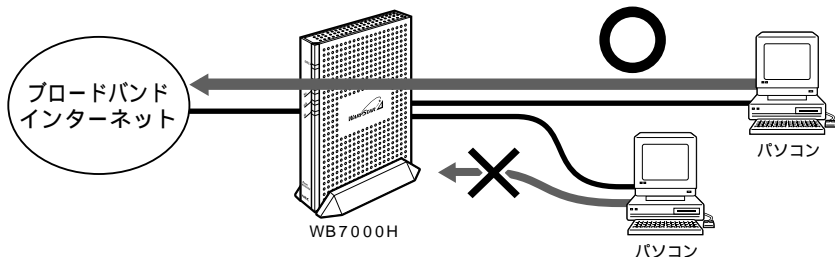
■本商品を HUB として使う（ルータに接続する場合など）（☞P6-23）

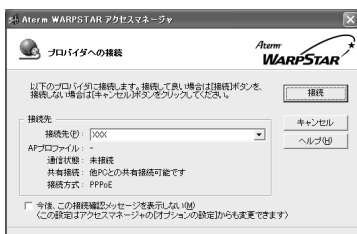
ルータタイプのブロードバンドモデムやルータに接続するときに、本商品のルータ機能を停止して使用することができます。

■ゲーム機を接続する（☞P6-22）

“ PlayStation® 2 ” などゲーム機を接続することができます。
使用するゲーム機やゲームが PPPoE での通信を前提としている場合は、PPPoE ブリッジ機能（☞P6-19）で接続できます。

■パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

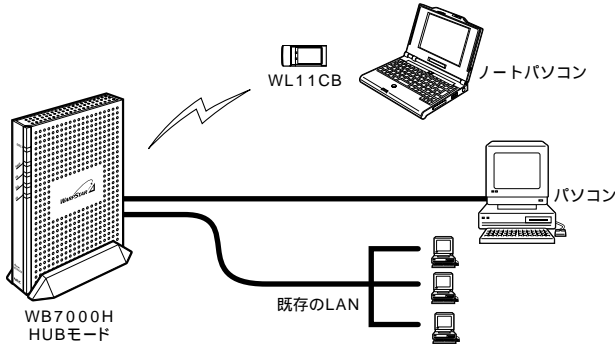
PPPoE ブリッジ機能やポートマッピングの設定、シングルユーザアクセスモードを利用してネットワークゲームをすることができます。（☞P6-17）
また、UPnP 機能を使用して Windows® XP の “ Windows Messenger ” サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になれます。（☞P6-26）

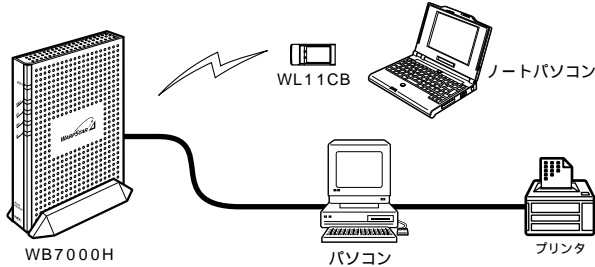
（次ページに続く）

●シングルユーザアクセスモード（☞P6-20）

・ゲームなどのアプリケーションを利用する場合などに、一時的に一台のパソコンでインターネット接続を占有できます。

●パソコンのインターネット接続をコントロールする「アクセスマネージャ」（ホームページ Aterm Station にて公開予定）

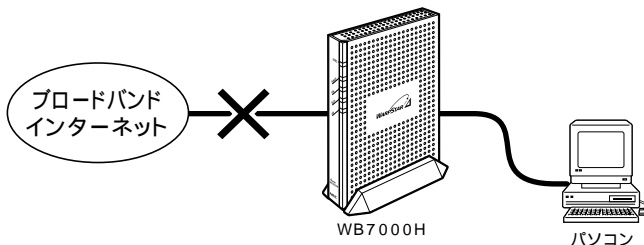
・WARPSTAR ユーティリティ「アクセスマネージャ」をホームページ Aterm Station からダウンロードすることにより、インターネット接続の「接続／切断」を行ったり、アプリケーションごとのネットワーク設定をあらかじめ接続先設定に登録しておくことで、接続のつど切り替えて使い分けることができます。（アプリケーションプロファイリング）

■本商品を HUB として使う（既存 LAN に接続する場合など）

（☛P6-23）

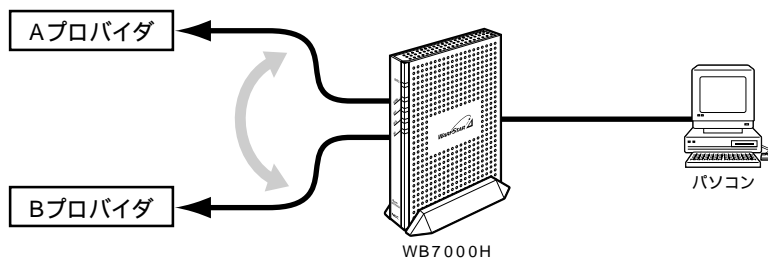
既存 LAN に有線・無線で接続する場合、本商品のルータ機能を停止して HUB か無線アクセスポイントとして使用することができます。

■ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

（CD-ROM 機能詳細ガイド）

■インターネットの通信を切断する

- **クイック設定 Web（CD-ROM 機能詳細ガイド）**
- **DISC スイッチ（☛P5-3）**
- **無通信監視タイマ（CD-ROM 機能詳細ガイド）**
- **アクセスマネージャ※（ホームページ Aterm Station にて公開予定）（☛P1-6）**

※ダウンロードが必要です。

■複数のアクセス先（プロバイダ）を登録する

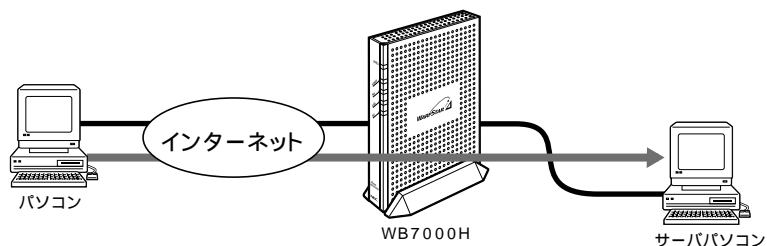
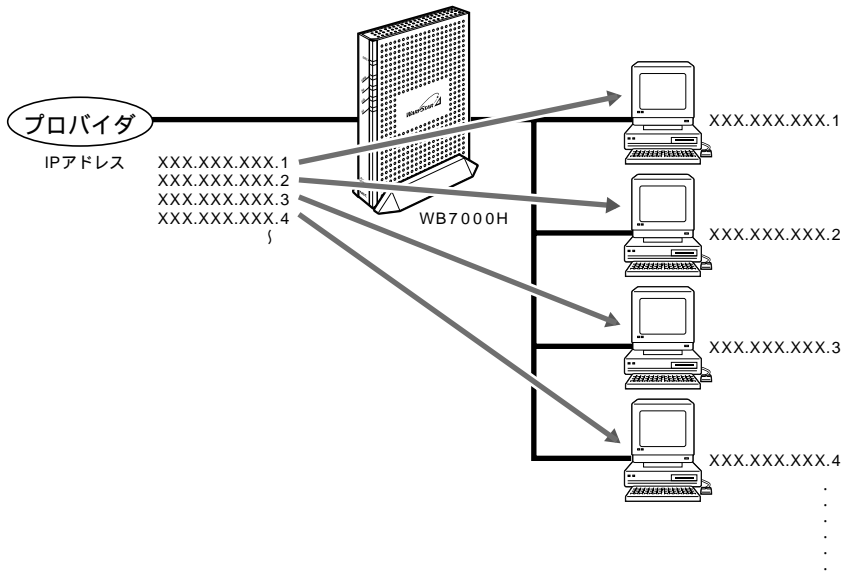
（ CD-ROM 機能詳細ガイド）

クイック設定 Webで複数の接続先を登録できます。

複数の接続先への同時接続はできません。

■SOHOで使用するときに便利な機能（ CD-ROM 機能詳細ガイド）

●ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する

（ CD-ROM 機能詳細ガイド）

アドバンスドNATオプション（ポートマッピング）、DMZホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。

●複数のグローバル固定IPアドレスを付与するサービスを利用する（複数固定IPアドレス対応）（CD-ROM 機能詳細ガイド）

●会社のネットワークに自宅から接続するなどVPNに接続する（CD-ROM 機能詳細ガイド）

VPN（PPTP）パススルー機能を利用してVPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）にPPTPで接続できます。

■知っておくと便利な機能

●親機をバージョンアップする（☞P6-27）

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、親機に新しい機能を追加したり、場合によっては親機の動作を改善します。

●親機の設定を保存する（CD-ROM 機能詳細ガイド）

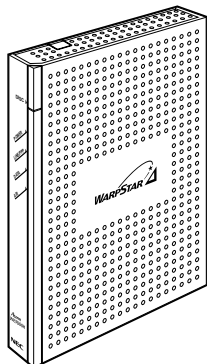
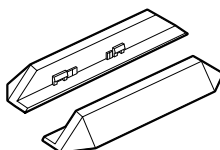
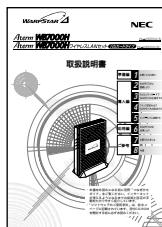
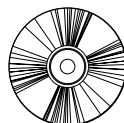
クイック設定Webで、現在の親機の設定内容を保存できます。親機を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから親機に設定内容を復元することができます。

●親機を初期化する（☞P7-22）

親機の設定内容を工場出荷の状態に戻します。
親機がうまく動作しない場合や、もう一度初めから親機を設定したいときにお使いいただけます。

1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●構成品

1-3 各部の名前とはたらき

WB7000H（親機）

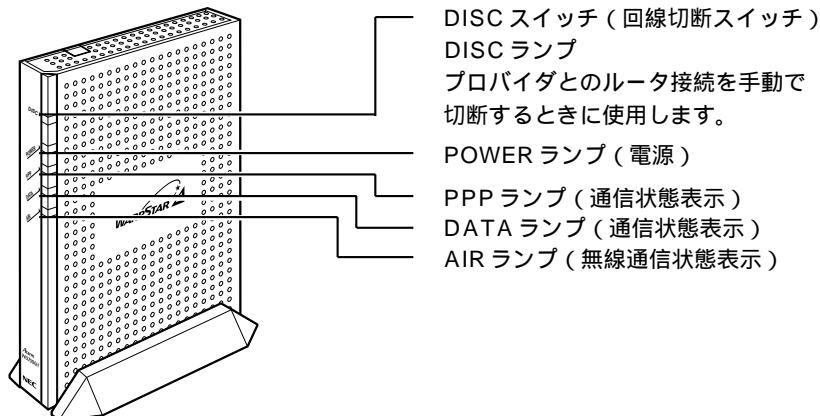
●前面図

① DISC スイッチ（回線切断スイッチ）
DISC ランプ
プロバイダとのルータ接続を手動で切断するときに使用します。

② POWER ランプ（電源）

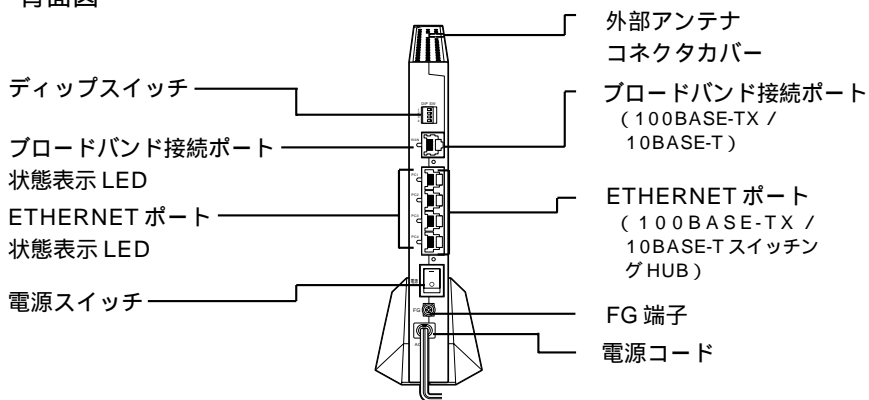
③ PPP ランプ（通信状態表示）

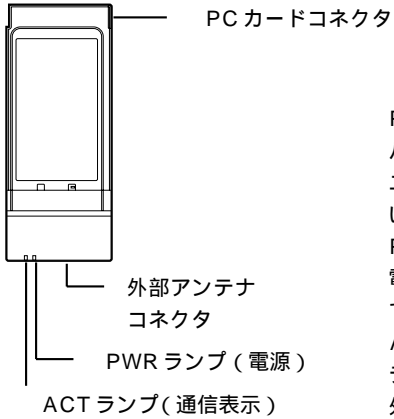
④ DATA ランプ（通信状態表示）

⑤ AIR ランプ（無線通信状態表示）

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた（色）	本商品の状態
① DISC ランプ	緑（点灯）	WAN 側（ADSL モデム／ CATV ケーブルモデムなど）と接続中
	赤（点灯）	DISC スイッチによって WAN 側との接続を不可にしているとき
	消灯	WAN 側と接続していないとき
② POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき
	赤（点滅）	バージョンアップが失敗したとき※
③ PPP ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	PPPoE 接続で PPP リンクが確立しているとき
	緑（遅い点滅）	親機の動作モードが PPPoE モードの場合に PPP の認証が失敗したとき（1 秒間隔）（☛P7-7）
	緑（速い点滅）	親機の動作モードが PPPoE モードの場合に相手先から応答がないとき（☛P7-7）
	消灯	ローカルルータモードで利用しているとき
④ DATA ランプ（通信状態表示）	緑（点滅）	LAN で接続されたパソコンでデータ送受信中
⑤ AIR ランプ（無線通信状態表示）	緑（点滅）	無線でデータ送受信中のとき
	赤（点滅）	無線子機が接続されたとき約 0.5 秒間点灯します。

※このままではご利用になれません。お近くの NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります。

●背面図

名称	説明	
①ディップスイッチ	親機の初期化・自己診断をするときや HUB モードで使用するときに使用します。	
②ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX／10BASE-T）	ブロードバンドモデムとの接続に使用します。	
③ETHERNET ポート（100BASE-TX／10BASE-T スイッチング HUB）	パソコンまたはハブやゲーム機との接続に使用します。	
④FG 端子	アース線を取り付ける端子です（アース線は添付されていません）。	
⑤電源コード	AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。	
⑥ブロードバンド接続ポート状態表示 LED	緑点灯	ブロードバンドモデムが接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅	ブロードバンドモデムとデータ送受信中
⑦ETHERNET ポート状態表示 LED	緑点灯	パソコンまたはハブが接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅	パソコンまたはハブとデータ送受信中
⑧電源スイッチ	電源の入／切を切り替えるスイッチです。電源を入れるときは「ー」側を押します。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔をあけてください。	
⑨外部アンテナコネクタカバー	外部アンテナを接続するときにカバーを切り取って使用します。	

WL11CB（子機）

① PC カードコネクタ
パソコンの PC カードスロットに差し込みます。ユーティリティで指示があるまでは差し込まないでください。

② PWR ランプ（電源）
電源が入っており、無線状態が正常なとき緑色で点灯します。

③ ACT ランプ（通信表示）
データ通信中に緑色で点滅します。

④ 外部アンテナコネクタ
外部アンテナを接続するときに使用します。

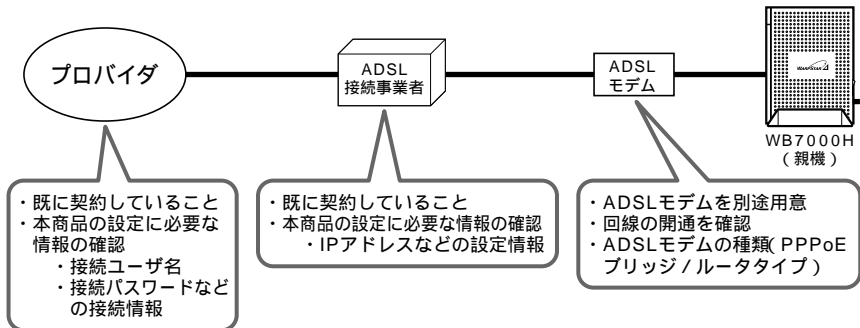
●PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

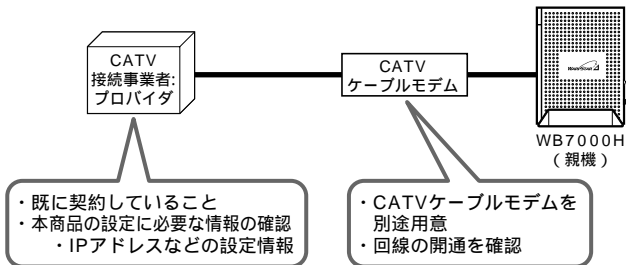
1-4 あらかじめ確認してください

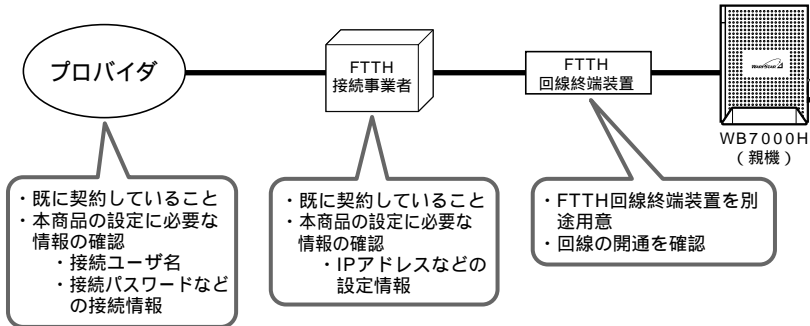
本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

■ADSL 接続の場合

ADSL 接続をご利用になる場合は、あらかじめ、ADSL 接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。
※ ADSL 接続事業者によっては、プロバイダ契約が不要な場合があります。

■CATV（ケーブルテレビ）インターネット接続の場合

CATV インターネット接続をご利用になる場合は、あらかじめ CATV インターネット接続事業者との契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。

■FTTH 接続の場合

FTTH サービスをご利用になる場合は、あらかじめ FTTH サービスの契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。
また、回線終端装置は別途ご用意ください。

※ 接続できるサービスについては、ホームページ Aterm Station の「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

〈親機に有線で接続する場合〉

- **ETHERNET（イーサーネット） ポート（LAN ポート）を装備していること**
  ETHERNET ポートで接続する場合は、パソコンに ETHERNET ポート（100BASE-TX ／ 10BASE-T ポート、LAN ポートとも呼ばれます）が必要です。お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX ／ 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- **TCP/IP プロトコルスタックに対応していること**
  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合は添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。
- **パソコンのネットワークの設定を確認すること（☞P1-17）**
- **WWW ブラウザの設定が「ダイヤルアップしない」になっていること（☞P1-22）**
- **プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること**

〈子機（WL11CB）から無線で接続する場合〉

- **PC カード TYPE II 準拠のカードスロットが装備されていること**
- **WWW ブラウザの設定が「ダイヤルアップしない」になっていること（☞P1-22）**
- **プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること**

（次ページに続く）

〈接続可能な機器〉

	親機（ETHERNET ポート）	子機（WL11CB）
Windows®	○	○ Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98（日本語版）
Macintosh	○	×
その他OS（Linux 等）	○	×
ゲーム機	○	×

お願い

●お使いのパソコンにプロキシの設定がされている場合や、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。ファイアウォールなどの働きによって、本商品との通信に必要なポートが止められている可能性があるためです。本商品設定の際には、プロキシの設定やファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトをいったん停止してください。

●OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ Aterm Station から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認

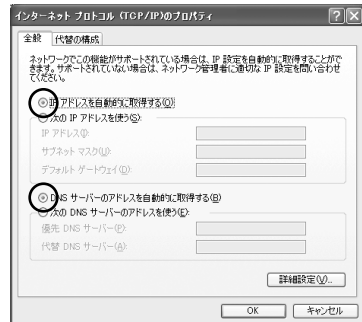
パソコンのネットワークの設定が Windows® の場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」、Macintosh の場合は、「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンを購入したままの状態でお使いの場合は必要ありません。

Windows® をご利用の場合 ☞P1-17～P1-20
Macintosh をご利用の場合 ☞P1-21

■Windows® をご利用の場合

Windows® XP をご利用の場合

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする
3. ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする
5. ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］を選択する

6. ［OK］をクリックする
7. ［OK］をクリックする

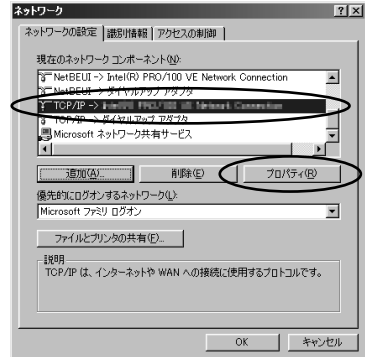
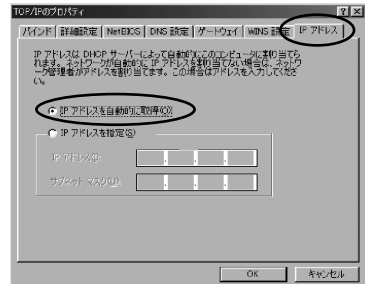
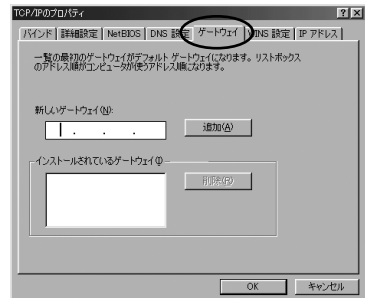
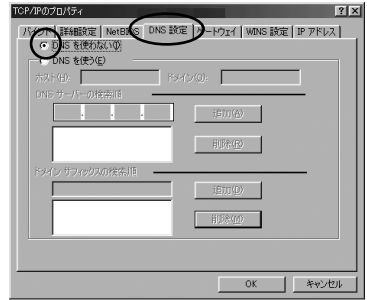
お知らせ

●本書では、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示モード）を前提に記述しています。

Windows® Me/98SE/98 をご利用の場合

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする

3 リストの［TCP/IP–>（お使いのLAN カードまたはお使いのLAN ボード)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

4 ［IP アドレス］タブをクリックし、［IP アドレスを自動的に取得］を選択する

5 ［ゲートウェイ］タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する

6 **［DNS 設定］タブをクリックし、［DNS を使わない］を選択する**

7 **［OK］をクリックする**

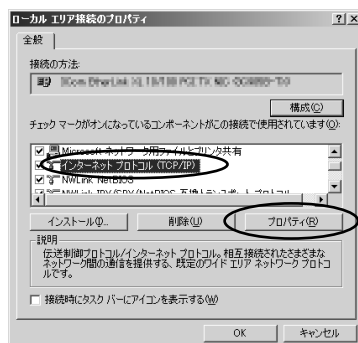
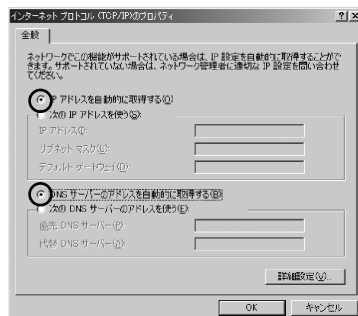
8 **［OK］をクリックする**

Windows® 2000をご利用の場合

1 **[スタート]－[設定]－[コントロールパネル]を選択する**

2 **[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックする**

3 **[ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする**

4 **リストの[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]をクリックする**

5 **[IPアドレスを自動的に取得]と[DNSサーバのアドレスを自動的に取得する]を選択する**

6 **[OK]をクリックする**

7 **[OK]をクリックする**

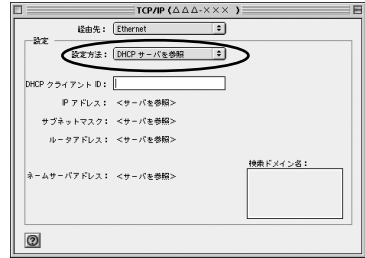
■Mac OS をご利用の場合

Mac OS 8.x/9.x をご利用の場合

1 **アップルメニューの［コントロールパネル］－［TCP/IP］を開く**

2 **［経由先］を［Ethernet］にする**

3 **［設定方法］を［DHCP サーバを参照］にし、［DHCP クライアント ID］と［検索ドメイン名］を空白にし、ウィンドウを閉じる**

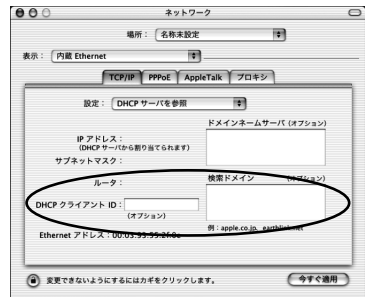
画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

4 **確認のダイヤログが表示されたら［保存］をクリックする**

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Mac OS X をご利用の場合

1 **アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンをクリックする**

2 **［表示］を［内蔵 Ethernet］にし、［設定］を［DHCP サーバを参照］にする**

3 **［DHCP クライアント ID］と［検索ドメイン］を空白にする**

4 **［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる**

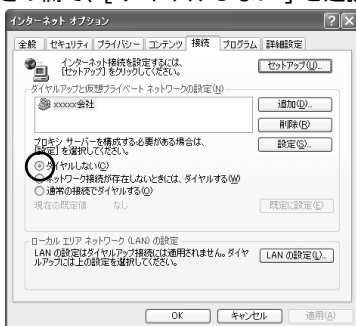
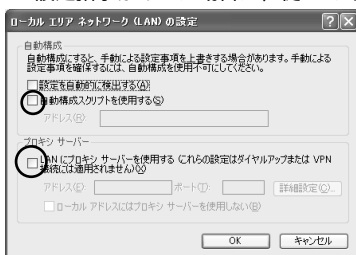
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

1

お使いになる前に

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer 等）の設定を「ダイヤルアップ接続しない」に変更します。
以下は Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98 で Internet Explorer 6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。
② ［ツール］の［インターネットオプション］を選択します。
③ ［接続］タブをクリックします。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択してください。

⑤ ［LAN の設定］をクリックします。
⑥ ［LAN にプロキシサーバーを使用する］と「設定を自動的に検出する」の☑をはずします。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。

お知らせ

●プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（モデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。
※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® XP、Mac OS X.x で Internet Explorer をお使いの場合の例です。その他の OS や Netscape での設定については「お困りのときには」（HTML ファイル）を参照してください。

Windows® XP の場合（Internet Explorer のバージョン 6.0 の例です。）

1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［クラシック表示に切り替える］－［インターネットオプション］をダブルクリックする**

2 **［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする**

3 **［サイト］をクリックする**

4 **［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックをはずす**

5 **［次の Web サイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し［追加］をクリックし、［OK］をクリックする**

※設定画面を IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力してひらく場合には、「192.168.0.1」（または設定した IP アドレス）と入力します。

6 **［OK］をクリックする**

7 **［レベルのカスタマイズ］をクリックし、下向き▼（矢印）をクリックし、画面をスクロールする**

（次ページに続く）

8 ［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

9 ［適用］をクリックする

10 ［OK］をクリックする

Mac OS X.x の場合（Internet Explorer のバージョン 5.1 の例です。）

1 **インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの［Explorer］から［環境設定］をクリックする**

2 **［Web ブラウザ］から［セキュリティゾーン］をクリックする**

3 **［ゾーン］から［信頼済みサイトゾーン］をクリックする**

4 **［サイトの追加］をクリックする**

5 **［追加］をクリックする**

6 **「http://web.setup/」と入力する**

※設定画面を IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力してひらく場合には、「192.168.0.1」（または設定した IP アドレス）と入力します。

7 **［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックをはずす**

8 **［Web ブラウザ］から［Web コンテンツ］をクリックする**

9 **［アクティブコンテンツ］で、［スクリプトを有効にする］にチェックを入れる**

10 **［OK］をクリックし、メニューバーの[Explorer]から[Explorer 終了]をクリックする**

※アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

導入編 インターネットに接続しよう

導入編

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

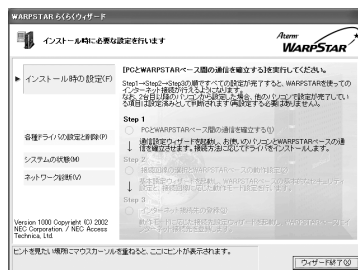
設定方法について

本商品を設定するには、次の 2 つの設定方法があります。初めて設定する場合には、らくらくウィザードが便利です。

●Windows パソコンで子機のドライバをインストールする場合やインターネット接続までの基本設定をする場合

らくらくウィザード（ユーティリティ）で設定する

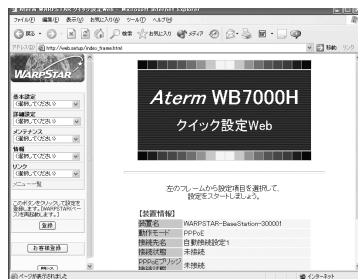
パソコンの接続→回線の設定→インターネット接続までの設定がステップに従って簡単に行えます。
また、子機（WL11CB）のドライバのインストールが簡単に行えます。

＜画面例＞

＜らくらくウィザードが利用できるパソコン＞
Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98（日本語版）
（Windows® XP では子機設定のためのユーティリティ、「サテライトマネージャ」は使用できません。Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定で設定します。）

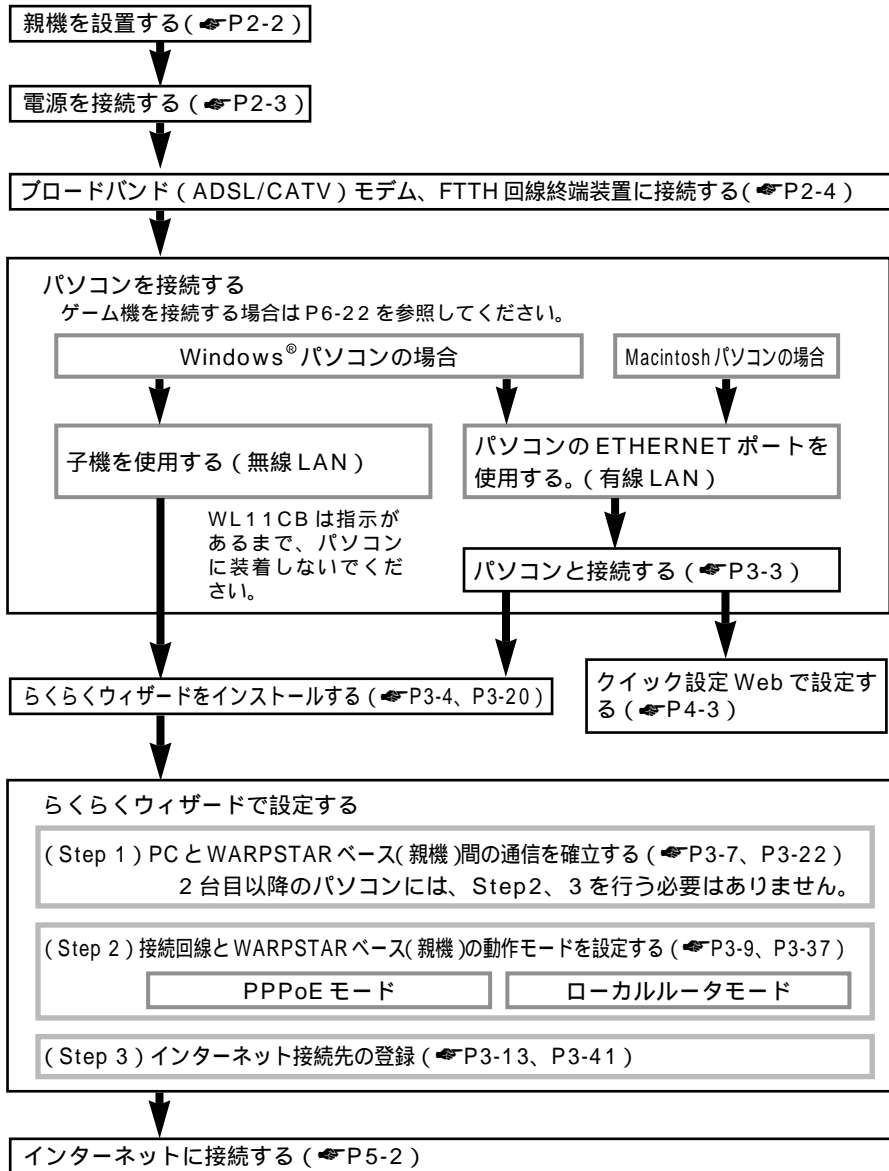
●Macintosh や Linux など Windows 以外のパソコンやネットワークゲーム機などから設定する場合
●本商品の詳細な設定を変更する場合

クイック Web 設定（WWW ブラウザ）で設定する

本商品のすべての設定が行えます。
クイック設定 Web からの設定では、子機（WL11CB）のドライバのインストールが行えません。
子機（WL11CB）から設定を行う場合は、らくらくウィザードで子機（WL11CB）のドライバのインストール後、親機との通信が確立してからクイック設定 Web での設定を行ってください。

＜画面例＞

＜設定できる WWW ブラウザ＞
Microsoft Internet Explorer 5.5 以上（日本語版）
Netscape communicator 6.1 以上（日本語版）
Net Front for ⊿（デルタ）（株式会社 ACCESS）（“PlayStation® 2”用ブラウザ）

セットアップの流れ

本商品を接続してインターネットに接続できるようになるまでの基本的な流れです。

2 WARPSTARに接続しよう

2-1 親機を設置する

親機の置き場所を決めよう

親機には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

●親機は ADSL モデム／ CATV ケーブルモデムのそばに置こう

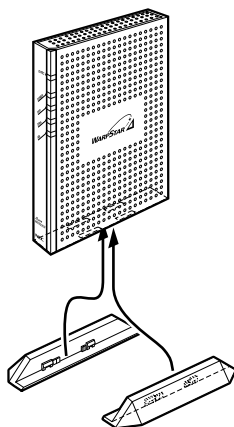
●親機用の電源コンセントはありますか？
親機用の電源コンセントを確保しましょう。

●子機は親機から無線で電波の届く距離に置こう
ただし、設定が完了するまでは親機のそばに置いておきます。

お知らせ

●ワイヤレスで届く範囲は見通し（間に障害物が何もない状態）で次のとおりです。（　）内の速度は目安です。壁や家具、什器など周囲の環境により変動します。
オープン（理想環境）160m（11Mbps）～550m（1Mbps）
セミオープン（屋外）50m（11Mbps）～115m（1Mbps）
クローズド（屋内）　25m（11Mbps）～50m（1Mbps）

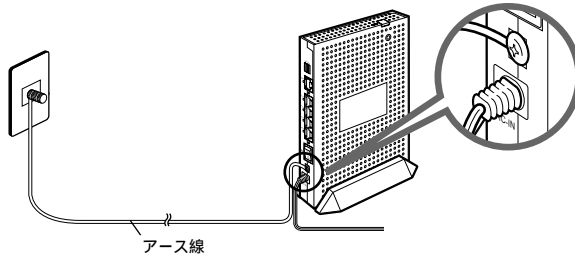
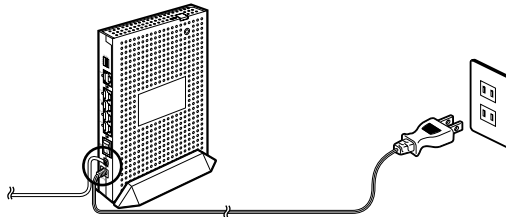
縦置きスタンドを取り付ける

図のように親機に縦置きスタンドを取り付けます。

●親機は絶対に横置きに設置しないでください。内部に熱がこもり、破損する可能性があります。また、壁などに近づけて設置しないでください。

2-2 電源を接続する

アース線と電源をそれぞれ接続します。

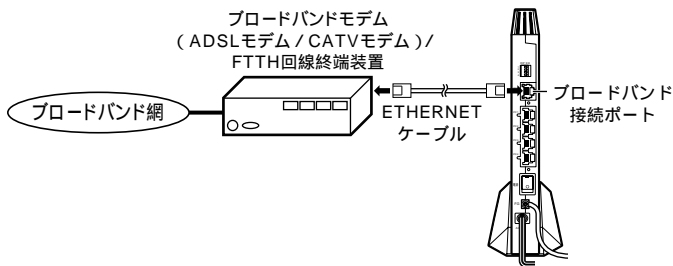
1 親機の FG 端子と壁のアース端子をアース線で接続する

アース線は添付されていませんので、別途購入してください。
アース線は漏電や落雷などが起こった場合に、人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。

2 親機の電源コードを壁の電源コンセントに接続する

2-3 ブロードバンド（ADSL/CATV）モデムまたはFTTH回線終端装置と接続する

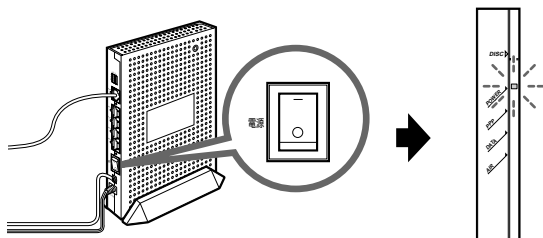
親機にブロードバンド（ADSL／CATV）モデムやFTTH回線終端装置を接続する場合は、次の手順で接続します。

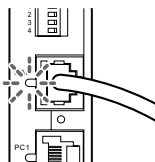
1 ブロードバンドモデムまたはFTTH回線終端装置が、回線に正しく接続されていることを確認する

ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認しておくことをおすすめします。

2 親機のブロードバンド接続ポートとブロードバンドモデムまたはFTTH回線終端装置をETHERNETケーブルで接続する

※添付のETHERNETケーブルは1本のみです。添付のケーブルをパソコンとの接続に使用する場合は、市販のETHERNETケーブルを使用してください。

3 親機の電源スイッチを入れる（「－」側を押す）

前面の各ランプが点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯します。

4 ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯することを確認する

（点灯しない場合は次ページを参照してください。）

お願い

●親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

? ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しないときは

ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しないときは、親機とブロードバンドモデム／FTTH回線終端装置が正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

① ETHERNETの接続を確認する
親機のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたはFTTH回線終端装置にETHERNETケーブルで正しく接続されているか確認してください。
ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

② ETHERNETケーブルの規格が正しいか確認する
接続に使用しているケーブルが「ETHERNETケーブル（カテゴリー5)」であることを確認してください。(☞P8-4）

③ ブロードバンドモデム／FTTH回線終端装置の電源が入っているか確認する

④ 親機の電源が入っているか確認する

⑤ ①〜④を行っても解決しない場合は、親機を初期化する
親機の設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「7-2　親機を初期化する」(☞P7-22）を参照してください。

⑥ 親機の自己診断を行う
「7-3　自己診断」(☞P7-24）を参照して、親機の自己診断を行ってください。

①〜⑥を行っても問題が解決しないときは、親機が故障している場合があります。最寄りのNEC保守サービス受付拠点（☞P8-10）へお問い合わせください。

! ADSLモデムの種類

ADSLモデムには、ルータタイプのものと、PPPoEブリッジタイプのものがあります。ADSLモデムによって設定する本商品の動作モード（PPPoEモード、ローカルルータモード）が異なりますので、あらかじめ確認しておきましょう。実際の設定は、らくらくウィザード、クイック設定Webの設定の中で行います。

●本商品の動作モードについて

PPPoEモード　：フレッツ・ADSL、BフレッツなどPPPoEプロトコルを使用する場合に設定します。
PPPoEプロトコルを使用するかどうか不明な場合は、ご利用のプロバイダまたは接続事業者へご確認ください。

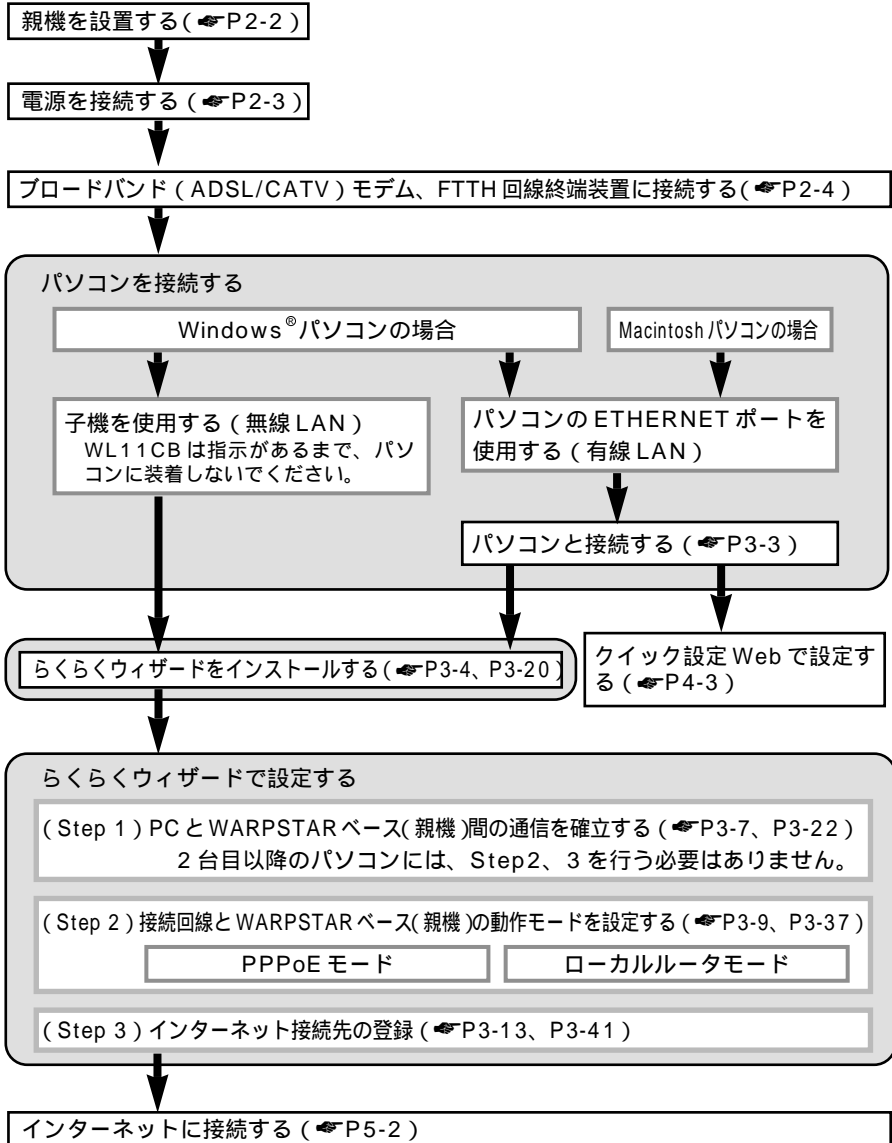
ローカルルータモード：PPPoEプロトコルを使用しない場合に設定します。

（次ページに続く）

●ブロードバンド接続ポートは、ストレート、クロスタイプのETHERNETケーブルを自動認識できます。（Auto MDI-X対応）

●パソコンにADSLモデムに添付されていたPPPoE接続専用ソフトを使用して接続してたり、Windows® XPのPPPoE機能を使用している場合、ADSLサービスによっては、パソコンを1台しかインターネットに接続できません。
複数のパソコンを同時に接続できるADSLサービスを契約せずに、同時に2台以上接続したい場合は、ADSLモデム用のPPPoE接続専用ソフトウェアやWindows® XPのPPPoE機能の使用は止めて、本商品のPPPoEモードを使用してお使いください。

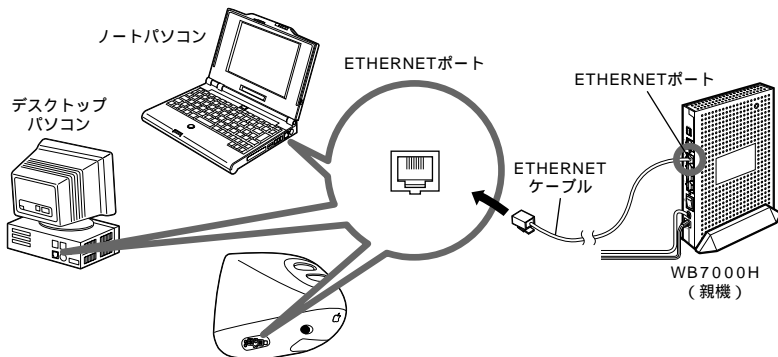
3 らくらくウィザードでWARPSTARを設定する

3章では、らくらくウィザードを使用して設定する場合を説明しています。
クイック設定Webを使用して設定する場合は、4章を参照してください。
どちらの方法で設定するかは「設定方法について」（☛P導入-1）を参照してください。

3-1 親機のETHERNETポートにパソコンを接続して使用する

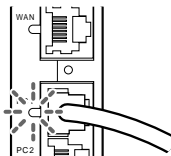
パソコンを接続する

親機（WB7000H）のETHERNETポートにパソコンを接続するときは、①パソコンの接続→② LANの設定の順で設定を行っていきます。LANの設定は、［クイック設定Web］または［らくらくウィザード］で行います。パソコンを接続したら、設定を行ってください。

1 親機のETHERNETポートとパソコンのETHERNETポートをETHERNETケーブルで接続する

ETHERNETポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

※添付ケーブルは1本のみです。ブロードバンドモデムとの接続に使用した場合や2台目以降を接続する場合は、市販のETHERNETケーブルをご購入ください。

2 ETHERNETポート状態表示LEDが緑点灯することを確認する

お願い

●あらかじめ、お使いのパソコンにLANカード／LANボードの組み込みとネットワークコンポーネントのインストールをしておく必要があります。LANカード／LANボードの組み込みは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

らくらくウィザードをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。

●Windows® 以外の OS（Macintosh、Linux など）の場合は、「クイック設定 Web（ブラウザ設定）」から設定してください。（☞P4-3）

1 Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98 を起動する

Windows® XP/2000 の場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。それでもインストールできないときは、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）「お困りのときには」を参照してください。

2 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

*メニューが表示されないときは**（☞P3-6）*

3 ［WARPSTAR ユーティリティのインストール］をクリックする

4 ［次へ］をクリックする

5 ［次へ］をクリックする

6 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする

7 ［すべて］を選択し［次へ］をクリックする

［サテライト］を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

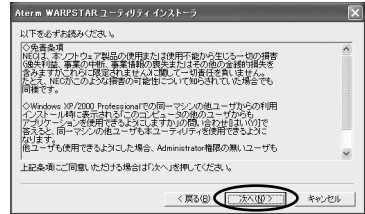
8 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 ［はい］をクリックする

インストールが開始されます。

10 ［はい］をクリックする

（次ページに続く）

11 ［READMEの表示］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。

12 READMEをよく読み、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

13 CD-ROMのメニュー画面の［終了］をクリックする

CD-ROMのメニュー画面の後ろにらくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、メニュー画面を終了すると表示されます。

14 CD-ROMをパソコンから取り出す

「Step1　PCとWARPSTARベース（親機）間の通信を確立する」（☞P3-7）に進みます。

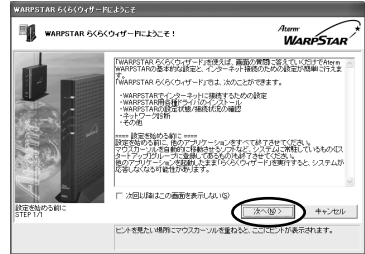
らくらくウィザードを起動するには

らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、［スタート］をクリックし、［プログラム］―［Aterm WARPSTARユーティリティ］―［らくらくウィザード］をクリックします。

お知らせ

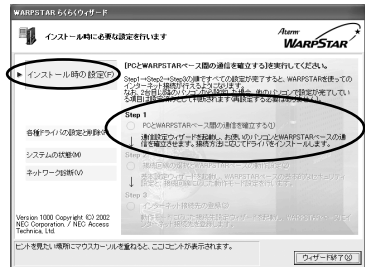
●添付のCD-ROMをセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。
①Windows®の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
②名前の欄に、CD-ROMドライブ名と\Menu.exeと入力し、［OK］をクリックする
（例：CD-ROMドライブ名がQの場合、Q:\Menu.exe）

Step1 PC と WARPSTAR ベース（親機）間の通信を確立する

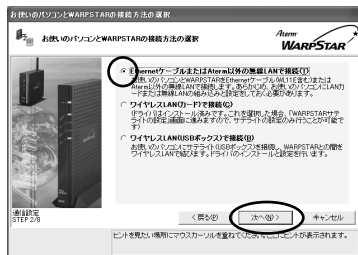
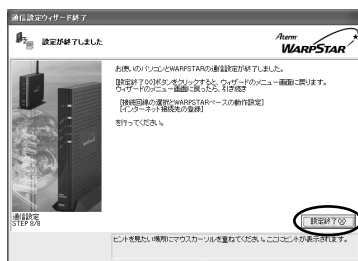
1 らくらくウィザードを起動する（☞P3-6）

2 ［次へ］をクリックする

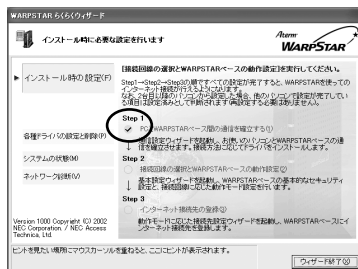
3 ［インストール時の設定］の［Step1 PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する］をクリックする

4 ［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

5 ［ETHERNET ケーブルまたは Aterm 以外の無線 LAN で接続］を選択し、［次へ］をクリックする

お願い

● あらかじめ、お使いのパソコンに LAN カードの組み込みをしておく必要があります。LAN カードの組み込みとネットワークコンポーネントのインストールは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

6 ［設定終了］をクリックする

7 らくらくウィザード画面に戻り、Step1 に✔がつくことを確認する

! *が表示されたときは（☞P3-34）*

➡ **「Step2 接続回線と WARPSTAR ベース（親機）の動作モードを設定する」（☞P3-9）に進みます。**

Step2 接続回線と WARPSTAR ベース（親機）の動作モードを設定する

接続回線にあわせて WARPSTAR ベース（親機）の動作モードを設定します。

1

［インストール時の設定］の［Step2 接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定］をクリックする

2

［次へ］をクリックする

3

セキュリティの設定を入力する

①［管理者用パスワード］に親機の設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

②［装置名］には、親機の名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

●管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワードメモ欄

4

［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

5 ［次へ］をクリックする

6 ［接続回線］を選択し、［次へ］をクリックする

7 ［接続回線］ごとにWARPSTARの動作モードを選択する

回線の種別	接続事業者（例）（敬称略）	本商品の動作モード
FTTH ・光ファイバに接続	NTT 東日本／西日本 B フレッツ	PPPoE モード
	東京電力 TEPCO ひかり	
	ケイ・オプティコム eo メガファイバー（ホームタイプ）	
	IP 接続で接続する事業者の場合	ローカルルータモード
ADSL 回線に接続	NTT 東日本／西日本 フレッツ・ ADSL	PPPoE モード
	イー・アクセス（※）	ローカルルータモード
	アッカ・ネットワークス（※）	
	Yahoo! BB	
	その他の ADSL 接続業者（※）	
CATV 回線に接続	ー	ローカルルータモード
既存のネットワークに本商品を接続	ー	ローカルルータモード

※ プロバイダまたは ADSL 事業者によっては、ADSL モデムが PPPoE によるブリッジタイプまたは、PPPoE によるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSL モデムを PPPoE によるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品は PPPoE モードを選択してください。

●外付けルータタイプのモデムと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて使用する HUB（無線 HUB）モードをご利用ください。（☛P6-23）
- ・本商品の持つルータ機能を使用しないとき
- ・ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

●既存のルータの IP アドレスが「192.168.0.1」の場合は、本商品の IP アドレスを変更する必要があります。（☛P3-46）

●本商品の動作モードについて

PPPoE モード　：フレッツ・ ADSL、B フレッツなど PPPoE ブリッジタイプのモデムと接続する場合に設定します。

ローカルルータモード　：PPPoE モードを使用しない場合に設定してください。

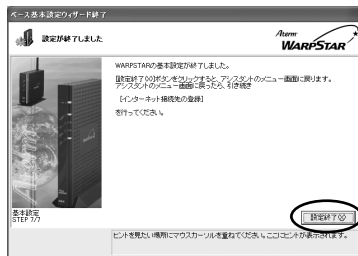
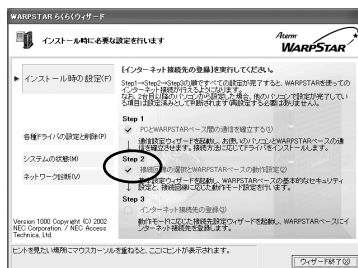
（次ページに続く）

8 ［次へ］をクリックする

9 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容を親機に登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して［OK］をクリックします。

10 ［設定終了］をクリックする

11 らくらくウィザード画面に戻り、Step2 に✔マークがつくことを確認する

手順 7 で選択した動作モードにあわせて「Step3　インターネット接続先の登録」（☞P3-13）に進みます。

お知らせ

●管理者パスワードを忘れた場合は、ティップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。（☞P7-23）
初期化すると全ての設定がクリアされます。最初から設定をやりなおしてください。

Step3 インターネット接続先の登録

Step2 で設定した動作モードにあわせてインターネット接続先の登録を行います。

●PPPoE モードの場合（☞ 下記）
●ローカルルータモードの場合（☞P3-15）

■ PPPoE モードの場合

1 ［インストール時の設定］の［Step3 インターネット接続先の登録］をクリックする

2 ［次へ］をクリックする

3 プロバイダに接続するための情報を入力し、［次へ］をクリックする

①［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力します。好きな名称で構いません。

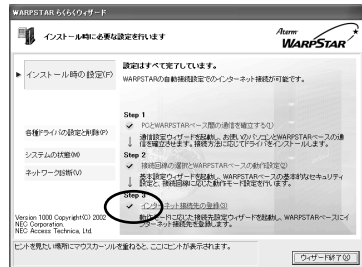
②接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ログイン ID」（接続ユーザー名）（例：XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「パスワード」を入力します。
［プライマリ DNS］、［セカンダリ DNS］をプロバイダなどから指定されている場合は、半角英数字で入力します。

（次ページに続く）

4 **設定内容を確認し、［実行］をクリックする**

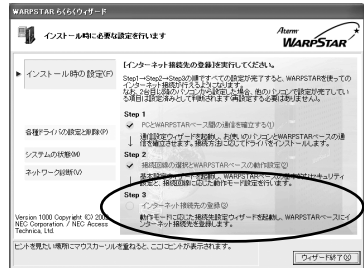
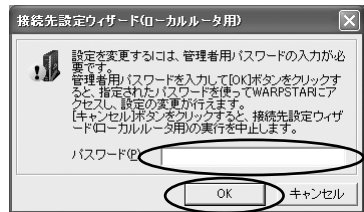
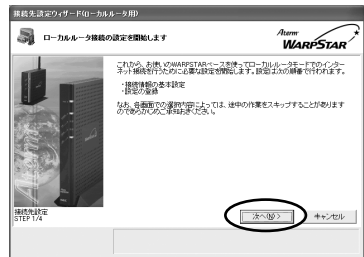
親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

5 **［設定終了］をクリックする**

6 **らくらくウィザード画面に戻り、Step3 に✔マークがつくことを確認する**

7 **［ウィザード終了］をクリックし、らくらくウィザードを終了する**

これでインターネットに接続する基本設定は完了です。「5 章　インターネットに接続する」（☛P5-1）に進みます。

■ローカルルータモードの場合

1　**［インストール時の設定］の［Step3　インターネット接続先の登録］をクリックする**

2　**Step2 で設定した管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

3　**［次へ］をクリックする**

4　**ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定を入力し、［次へ］をクリックする**

ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。

DHCP クライアント機能：

WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は［WAN 側を DHCP クライアントとして扱う］に☑します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックをはずしてください。

（次ページに続く）

IP アドレス/ネットマスク：

接続事業者から固定IP アドレスを指定されている場合は、そのIP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側をDHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：

接続事業者からゲートウェイアドレスを指定されている場合はそのアドレスを入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリ DNS ：

接続事業者から DNS サーバアドレスを指定されている場合はそのアドレスを入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

ドメイン名／ホスト名：

接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合はその名前を入力します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでかまいません。

5 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

6 親機とブロードバンドモデムの接続が正しく行われたことを確認し、［OK］をクリックする

7 WAN 側 IP アドレスの欄に IP アドレスが表示されていることを確認する

WAN 側 IP アドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデム（ADSL モデム／ CATV モデム）と正しく接続されていません。❓WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合（☞P3-18）をご覧ください。

8 [設定終了] をクリックする

9 らくらくウィザード画面に戻り、Step3 に✔マークがつくことを確認する

10 [ウィザード終了] をクリックし、らくらくウィザードを終了する

➡ **これでインターネットに接続する設定は完了です。「5 章　インターネットに接続する」（☞P5-1）に進みます。**

? WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合

● WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。らくらくウィザードの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC→インターネット）の診断］をクリックします。
［IPアドレス情報（WAN）］タブでIPアドレスが表示されているか確認してください。［再取得］でもIPアドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデム（ADSLモデム／CATVモデム）がエラー表示していないか、または親機の背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しているか確認してください。
（☛P1-12、P2-4）
それでもIPアドレスがとれない場合は、「お困りのときには」（☛P7-8）を参照してください。

〈IPアドレスがとれているとき〉

〈IPアドレスがとれていないとき〉

! ブロードバンドモデムのIPアドレスと親機のIPアドレスが同じときは

次の手順で親機のIPアドレスを変更してください。

① WWWブラウザを起動し「http://web.setup/」と入力し、クイック設定Webを起動します。
② ユーザ名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。
③ ［詳細設定］の［LAN側設定］を選択します。
④ ［IPアドレス］欄で「192.168.2.1」などIPアドレスの下から2桁目を変更します。

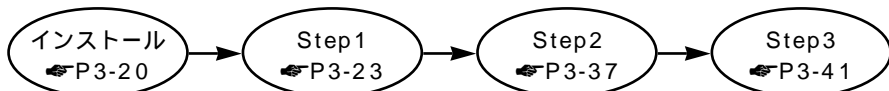
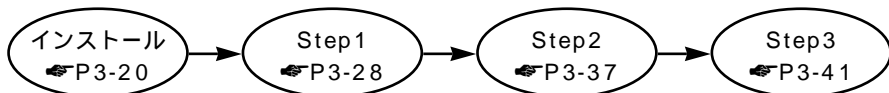
⑤ ［設定］をクリックします。
⑥ ［登録］をクリックします。　※パソコンを再起動します。

3-2 WARPSTAR子機（WL11CBなど）で無線LANを使用する

子機で無線LAN接続する場合

子機（WL11CB/WL11CA/WL11C/WL11U）をパソコンに接続するときは、①子機のドライバのインストール→②パソコンに子機を挿入する→③LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてらくらくウィザードで行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくウィザードをインストールしてください。
子機を接続できるのはWindows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98のみです。Macintoshではご利用になれません。
子機（WL11CB/WL11CA/WL11C）は、PCカードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。子機（WL11U）はUSBポートがあるパソコンに取り付けることができます。

※WL11Eを子機としてご利用になる場合、親機への設定は、「3-1　親機のETHERNETポートにパソコンを接続して使用する」（☞P3-3）の設定手順で設定を行ってください。WL11Eの設定については、WL11Eの取扱説明書を参照してください。

Windows® XPのパソコンに接続する場合

Windows® Me/2000 Professional/98SE/98のパソコンに接続する場合

注意

子機（WL11CB/WL11CA/WL11C/WL11U）は、らくらくウィザードの「インストール時の設定」の「Step1 PCとWARPSTARベース（親機）間の通信を確立する」で指示があるまで挿入しないでください。

お願い

- 子機はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを差し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらくウィザードで設定を行ってください。（☞P3-35、3-36）
- らくらくウィザードを起動する前に誤って、子機をパソコンに挿入して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

らくらくウィザードをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。

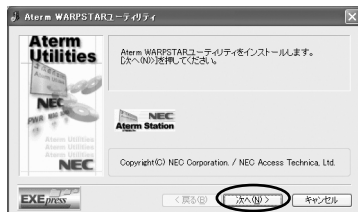
1 Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98を起動する

Windows® XP/2000の場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。それでもインストールできないときは、添付のCD-ROM（ユーティリティ集）「お困りのときには」を参照してください。

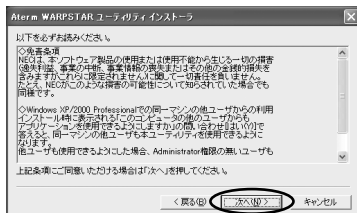
2 添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

メニューが表示されないときは（☞P3-6）

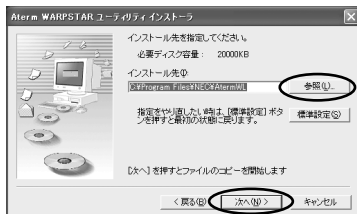
3 ［WARPSTARユーティリティのインストール］をクリックする

4 ［次へ］をクリックする

5 ［次へ］をクリックする

6 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする

7 ［すべて］を選択し［次へ］をクリックする

［サテライト］を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

8 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 ［はい］をクリックする

インストールが開始されます。

10 ［はい］をクリックする

11 ［READMEの表示］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。

（次ページに続く）

12 README をよく読み、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

13 CD-ROM のメニュー画面の［終了］をクリックする

CD-ROM のメニュー画面の後ろにらくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、メニューを終了すると表示されます。

14 CD-ROM をパソコンから取り出す

「Step1　PC と WARPSTAR ベース（親機）間の通信を確立する」（☞P3-23）に進みます。

Windows® XP のパソコンに接続する場合（☞3-23）
Windows® Me/2000 Professional/98SE/98 のパソコンに接続する場合（☞P3-28）

? らくらくウィザードを起動するには

らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、［スタート］をクリックし、［プログラム］—［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］—［らくらくウィザード］をクリックします。

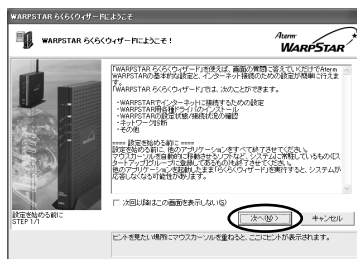
Step1 PCとWARPSTARベース（親機）間の通信を確立する

■ Windows® XPのパソコンに接続する場合

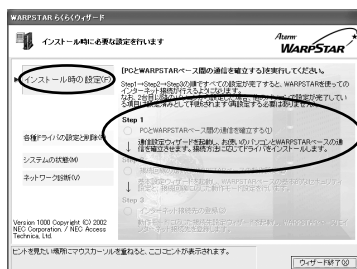
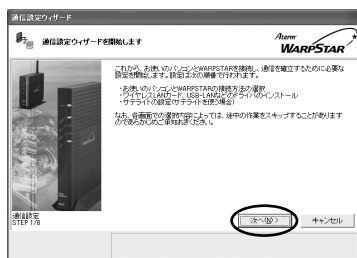
ここではWindows® XPで設定する場合を説明しています。Windows® Me/2000 Professional/98SE/98を利用している場合は、設定手順が異なります。P3-28を参照してください。

●子機は、手順7の画面が表示されるまでパソコンに挿入しないでください。

1 **らくらくウィザードを起動する（☞P3-22）**

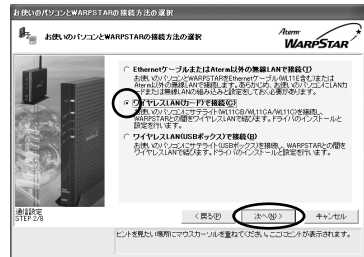
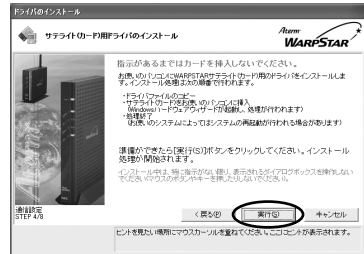
2 **［次へ］をクリックする**

3 **［インストール時の設定］の［Step1 PCとWARPSTARベース間の通信を確立する］をクリックする**

4 **［次へ］をクリックする**

（次ページに続く）

5

WL11CB/WL11CA/WL11C の場合は、［ワイヤレス LAN（カード）で接続］を選択し、［次へ］をクリックする

※WL11U の場合は、［ワイヤレス LAN（USB）で接続］を選択し、［次へ］をクリックしてください。

6

［実行］をクリックする

7

次の画面が表示されたら、子機をパソコンに取り付ける

自動的にドライバのインストールが開始されます。

ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、次の項目の画面が表示されるまで操作しないでください。

※WL11CB/WL11CA/WL11C の場合

パソコンのカードスロットに子機を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

※WL11U の場合

WL11U の USB ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブルで接続します。コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

子機の取りはずしかた（☞P3-33）

8 下図のような画面が表示されたら、手順10～13でワイヤレスネットワークの設定をします。

［ガイド表示］をクリックするとワイヤレスネットワークについての説明が表示されます。

・ワイヤレスネットワーク接続の設定が完了するまで、［次へ］はクリックしないでください。

9 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される

10 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

11 「利用できるネットワーク」を選択する

親機に「暗号化」を設定している場合には、［詳細設定］をクリックして設定を行ってください。（☛P6-14）

・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは、親機の側面に記載されているWAN/PC（MACアドレス）の下6桁）です。

・［利用できるネットワーク］に使用する親機が表示されていない場合には、（☛P3-27）

次の画面が表示されたときは「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて［接続］をクリックしてください。

（次ページに続く）

12 ［接続］をクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続 XX に接続されました」と表示されます。

13 手順 9 で表示したままの画面で［ガイドの内容を確認済み］をチェック☑して、［次へ］をクリックする

・ガイドを表示した場合は［ガイドの内容を確認済み］が☑になっていることを確認します。

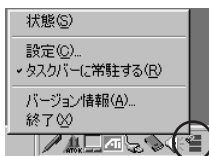
14 ［設定終了］をクリックする

15 らくらくウィザード画面に戻り、Step1 に✔がつくことを確認する

❗が表示されたときは（☞P3-34）

これで子機のドライバインストールと無線設定は完了です。「Step2 接続回線と WARPSTAR ベース（親機）の動作モードを設定する」（☞P3-37）に進みます。

タスクトレイにサテライトマネージャが表示された場合は

サテライトマネージャアイコンを右クリックし、［タスクバー常駐する］のチェックをはずし、［終了］をクリックします。

お願い

●Windows® XP でお使いの無線 LAN 環境に接続可能なネットワークが複数存在する場合に、次のような現象が発生したときには添付 CD-ROM に収録されている「Windows® XP のワイヤレスネットワーク接続をご利用になっているお客様へのご注意」を参照してください。
・らくらくウィザードの設定などで親機の再起動が行われると接続されるネットワーク名が変わってしまう。
・らくらくウィザードの設定などで親機の再起動が行われるとそれ以降、らくらくウィザードの設定が行えなくなる。
・親機に接続できなくなる。

お知らせ

●以降の設定をクイック設定 Web で行うこともできます。（「4 章　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」☞P4-1）
●暗号化の設定を行う場合は、「6-1　セキュリティ対策をする」（☞P6-2）を参照して設定してください。

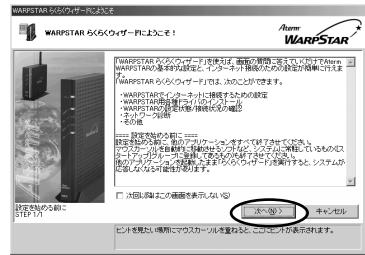
こんなときには

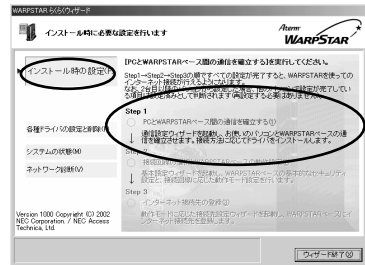
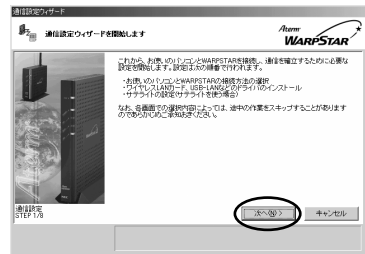
手順 11 で［利用できるネットワーク］に使用する親機が表示されていない場合は、次の手順を行ってください。
① 手順 11 の画面で［詳細設定］をクリックする
②「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の［ワイヤレスネットワーク］タブの［利用できるネットワーク］の［最新の情報に更新］をクリックする
③［利用できるネットワーク］を選択して、［構成］をクリックする
④ ネットワーク名と WEP を確認して［OK］をクリックする
⑤［OK］をクリックする

■ Windows® Me/2000 Professional/98SE/98 のパソコンに接続する場合

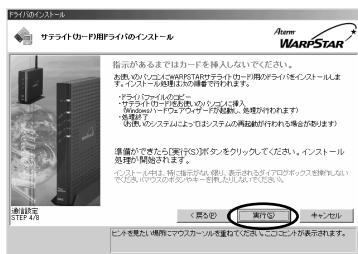
お願い

●子機は、手順 7 の画面が表示されるまでパソコンとは接続しないでください。

1 **らくらくウィザードを起動する（☞P3-6）**

2 **［次へ］をクリックする**

3 **［インストール時の設定］の［Step1 PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する］をクリックする**

4 **［次へ］をクリックする**

5 ［ワイヤレス LAN（カード）で接続］を選択し、［次へ］をクリックする

6 ［実行］をクリックする

7 次の画面が表示されたら、子機を取り付ける

パソコンのカードスロットに子機を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、次の項目の画面が表示されるまで操作しないでください。

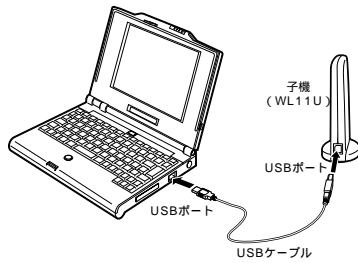
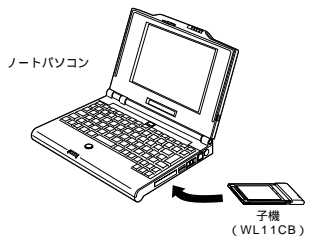
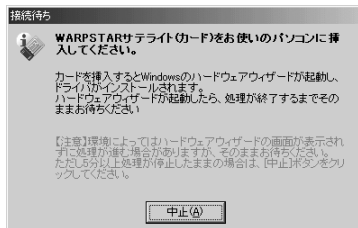
※WL11CB/WL11CA/WL11C の場合

パソコンのカードスロットに子機を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

※WL11U の場合

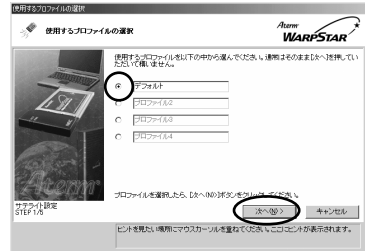
WL11U の USB ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブルで接続します。コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

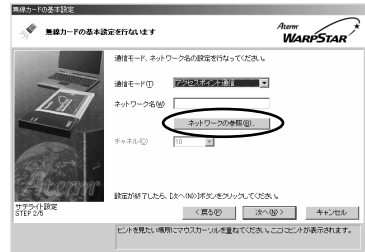
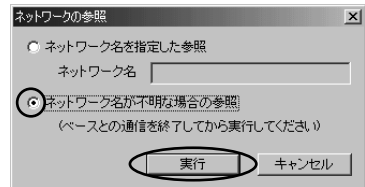
子機の取りはずしかた（☞P3-33）

（次ページに続く）

8 ［実行］をクリックする

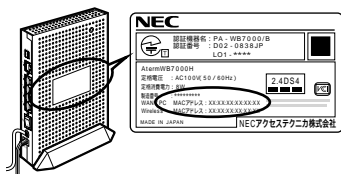
9 使用するプロファイルを選択し、［次へ］をクリックする

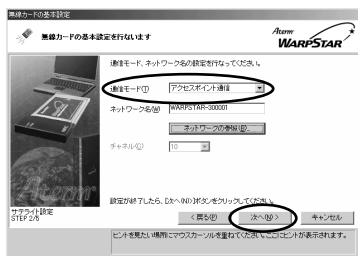
通常は［デフォルト］のまま［次へ］をクリックします。

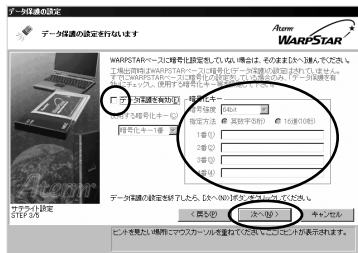
プロファイルとは（☞P6-9）

10 親機のPOWERランプが点灯していることを確認し、［ネットワークの参照］をクリックする

親機を検索します（ネットワークの参照といいます）。

11 次の画面が表示されたときは［ネットワーク名が不明な場合の参照］を選択し、［実行］をクリックする

12 接続する親機のネットワーク名をクリックし、［OK］をクリックする

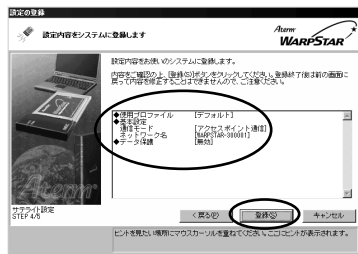
※複数の親機がある場合は、ネットワーク名も複数表示されます。

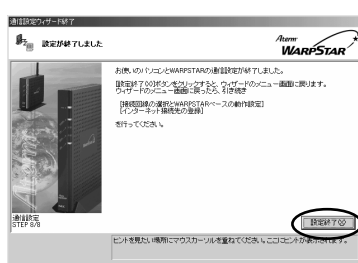
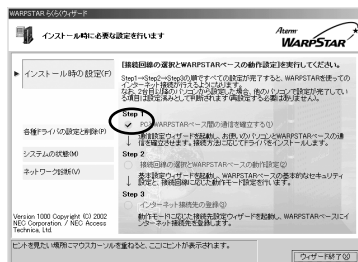
工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は親機の側面に記載されている WAN ／ PC（MAC アドレス）の下 6 桁）です。
「ネットワークが見つかりません。」と表示された場合は［OK］をクリックして手順 11 の画面で［ネットワークの参照］をクリックしてください。それでもみつからない場合は、［ネットワーク名］の欄に直接ネットワーク名を入力してください。

13 ［次へ］をクリックする

［通信モード］は［アクセスポイント通信］の設定のままにしてください。
親機に暗号化（WEP）の設定がされている場合、手順 14 の画面が表示されます。手順 14 の画面が表示されない場合は、手順 15 に進みます。

14 次の画面が表示されたときは、親機の設定に合わせて暗号化の設定を行う

すでに親機に暗号化（WEP）の設定をしている場合（☛P6-7）のみデータ保護の設定を行います。
①［データ保護を有効］をチェックする
②確認のメッセージ画面が表示されたら［はい］をクリックする
③親機と同じ暗号強度を［64bit］［128bit］から選択します。
④［指定方法］から暗号化キーの種類を［英数字］または［16 進数］のどちらかを選択します。
⑤［使用する暗号化キー］に親機と同じキー番号を選択します。
⑥［1 番］～［4 番］のうち⑤で選択した暗号化キー番号の欄に暗号化キーを入力します。
⑦［次へ］をクリックします。

（次ページに続く）

15 設定内容を確認し、[登録] をクリックする

設定内容をお使いのシステムに登録します。

16 [無線設定終了] をクリックする

17 [設定終了] をクリックする

18 らくらくウィザード画面に戻り、Step1 に✔がつくことを確認する

! *が表示されたときは(☞P3-34)*

これで子機のドライバのインストールと無線設定が完了です。「Step2 接続回線とWARPSTARベース（親機）の動作モードを設定する」（☞P3-37）に進みます。

お知らせ

●以降の設定をクイック設定 Web で行うこともできます。（「4 章　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」☛P4-1）

■子機の取り扱いについて

〈取り付けるとき〉

・子機のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

〈取りはずすとき〉

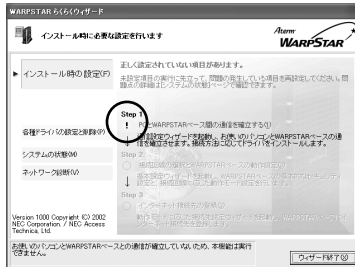
・子機を取りはずすときは、以下の操作で PC カードを取りはずせる状態にしてから取りはずしてください。
　①タスクトレイの PC カードアイコンをクリックする
　②［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の停止］をクリックする（Windows® 98 の場合は［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の中止］をクリックする、Windows® XP の場合は［WARPSTAR WL11C（PC-WL/11C）を安全に取り外します］をクリックする）
　③「' Aterm WL11C（PC-WL/11C）' は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［OK］をクリックする（Windows® XP の場合は ☒ をクリックして画面を閉じる）
　④WL11CB を取りはずす

※ WL11CA、WL11CB を差し込んだ場合にも、タスクトレイのカードアイコンは WL11C と表示されます。

お願い

●子機の取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けてください。

こんなときは

らくらくウィザードのメニュー画面 Step1 に❗マークが表示された場合は、下記①〜⑥を確認してしてください。

①［ネットワーク診断］―［LAN側（PC→WARPSTARベース）のネットワーク診断］をクリックする
②［IPアドレス情報（LAN）］の［アダプタ］のプルダウンウィンドウの▼をクリックし、［WL11C（PC-WL/11C）］を選択する
③［解放］をクリックする
④［再取得］をクリックする
⑤IPアドレスが［192.168.0.×××］になることを確認する
⑥［OK］をクリックする

❗マークが消えない場合は、「7-1　トラブルシューティング」の「c.らくらくウィザードで「親機との通信が確率されていません」と表示されている」（☛P7-4）を参照してください。

※ お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイヤウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。ファイヤウォールなどの働きによって、本商品との通信に必要なポートが止められている可能性があるためです。本商品設定の際には、プロキシの設定や、ファイヤウォール、ウィルスチェック等のソフトをいったん停止してください。

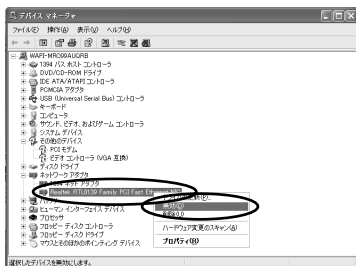
子機のドライバをアンインストールするには

① らくらくウィザードを起動する
②［各種ドライバの設定と削除］をクリックし、［各種ドライバのアンインストール］をクリックする
③ 画面の指示が出たら、タスクバーのカードアイコンを右クリックして、"WARPSTAR WL11C（PC-WL/11C）を安全に取り外します"をクリックする
④ 取り外し可能のメッセージが表示されたら［OK］をクリックする
⑤［OK］をクリックする
⑥ アンインストールするドライバを選択する
⑦ 画面の指示に従ってアンインストールを行う
※ CD-ROMのメニュー画面から［ドライバのアンインストール］をクリックしてもドライバのアンインストールが行えます。

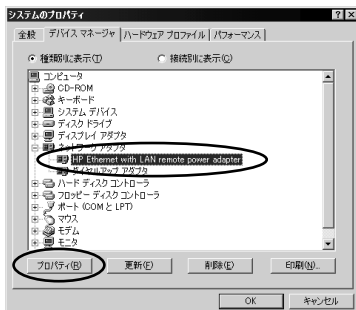
LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させるには

ETHERNET インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させないと子機が使用できない場合があります。以下の操作で LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、らくらくウィザードで設定を行ってください。

〈Windows® XP の場合〉

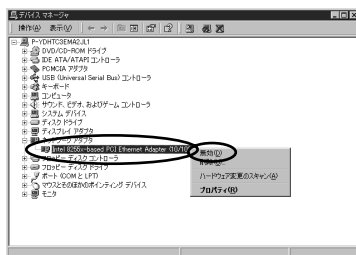
① ［スタート］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
③ ［システム］アイコンをダブルクリックする
④ ［ハードウェア］タブをクリックする
⑤ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑥ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑧ ［はい］をクリックする

〈Windows® Me/98SE/98 の場合〉

① ［スタート］―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［デバイスマネージャ］タブをクリックする
④ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤ 不要なネットワークアダプタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする

⑥ ［全般］タブの［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］をチェックし、［OK］をクリックする

? LANカードおよびLANボード機能を停止させるには

〈Windows® 2000 Professionalの場合〉

① ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［ハードウェア］タブをクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑦ ［はい］をクリックする

! 電波が届かない場合は

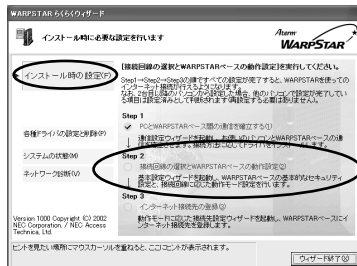
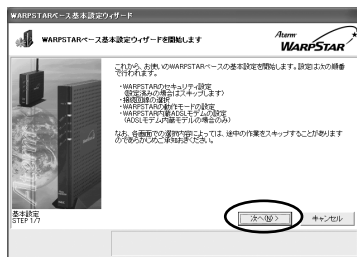
親機から電波の届く場所へ子機を移動してください。

 お知らせ

●本商品は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。（「6-1　セキュリティ対策をする」☛P6-2）

Step2 接続回線と WARPSTAR ベース（親機）の動作モードを設定する

接続回線にあわせて WARPSTAR ベース（親機）の動作モードを設定します。

1 ［インストール時の設定］の［Step2 接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定］をクリックする

2 ［次へ］をクリックする

3 セキュリティの設定を入力する

①［管理者用パスワード］に親機の設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

②［装置名］（親機の名称）を変更したい場合は、入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

●管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワードメモ欄

____

4 ［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

5 ［次へ］をクリックする

6 ［接続回線］を選択し、［次へ］をクリックする

7 ［接続回線］ごとにWARPSTARの動作モードを選択する

回線の種別	接続事業者（例）（敬称略）	本商品の動作モード
FTTH ・光ファイバに接続	NTT 東日本／西日本 B フレッツ	PPPoE モード
	東京電力 TEPCO ひかり	
	ケイ・オプティコム eo メガファイバー（ホームタイプ）	
	IP 接続で接続する事業者の場合	ローカルルータモード
ADSL 回線に接続	NTT 東日本／西日本 フレッツ・ ADSL	PPPoE モード
	イー・アクセス（※）	ローカルルータモード
	アッカ・ネットワークス（※）	
	Yahoo! BB	
	その他の ADSL 接続業者（※）	
CATV 回線に接続	ー	ローカルルータモード
既存のネットワークに本商品を接続	ー	ローカルルータモード

※ プロバイダまたは ADSL 事業者によっては、ADSL モデムが PPPoE によるブリッジタイプまたは、PPPoE によるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSL モデムを PPPoE によるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品は PPPoE モードを選択してください。

8 ［次へ］をクリックする

9 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容を親機に登録します。

※パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して [OK] をクリックします。

10 ［設定終了］をクリックする

（次ページに続く）

11 らくらくウィザード画面に戻り、Step2 に✔マークがつくことを確認する

手順 7 で選択した動作モードにあわせて「Step3　インターネット接続先の登録」（☛P3-41）に進みます。

お知らせ

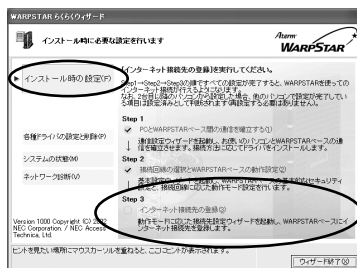
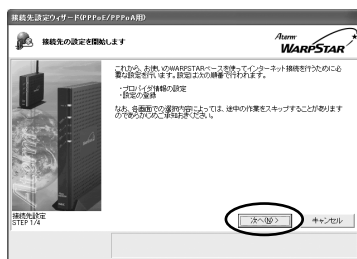
●管理者パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。（☛P7-23）
初期化すると全ての設定がクリアされます。最初から設定をやりなおしてください。

Step3 インターネット接続先の登録

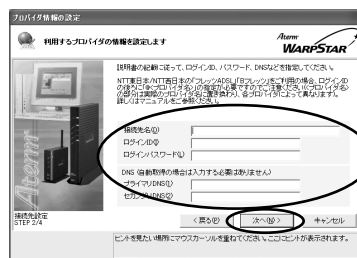
Step2 で設定した動作モードにあわせてインターネット接続先の登録を行います。

●PPPoE モードの場合（☞ 下記）
●ローカルルータモードの場合（☞P3-43）

■ PPPoE モードの場合

1 **［インストール時の設定］の［Step3 インターネット接続先の登録］をクリックする**

2 **［次へ］をクリックする**

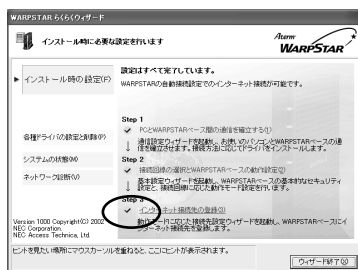
3 **プロバイダに接続するための情報を入力し、［次へ］をクリックする**

①［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力します。好きな名称で構いません。
②接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ログイン ID」（接続ユーザー ID）（例： XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「接続パスワード」を入力します。
［プライマリ DNS］、［セカンダリ DNS］をプロバイダなどから指定されている場合は半角英数字で入力します。

（次ページに続く）

4 設定内容を確認し、[実行] をクリックする

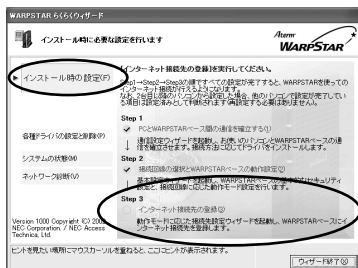
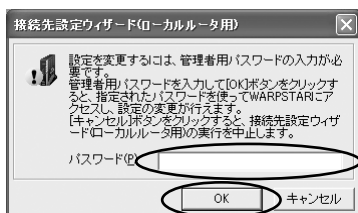
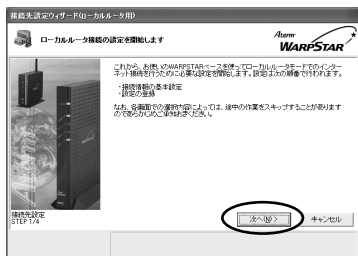
親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

5 [設定終了] をクリックする

6 らくらくウィザード画面に戻り、Step3 に✔マークがつくことを確認する

7 [ウィザード終了] をクリックし、らくらくウィザードを終了する

➡ **これでインターネットに接続する設定は完了です。「5 章　インターネットに接続する」(☞P5-1) に進みます。**

■ローカルルータモードの場合

1 **［インストール時の設定］の［Step3　インターネット接続先の登録］をクリックする**

2 **Step2で設定した管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

3 **［次へ］をクリックする**

4 **ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定を入力し、［次へ］をクリックする**

ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。通常は何も設定する必要はありません。

DHCPクライアント機能：

WAN側のIPアドレスを自動で取得する場合は［WAN側をDHCPクライアントとして扱う］に☑します。接続事業者から固定のIPアドレスを指定されている場合はチェックをはずしてください。

（次ページに続く）

IP アドレス/ネットマスク：

接続事業者から固定IP アドレスを指定されている場合は、そのIP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側をDHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：

接続事業者からゲートウェイアドレスを指定されている場合はそのアドレスを入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリ DNS ：

接続事業者から DNS サーバアドレスを指定されている場合はそのアドレスを入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

ドメイン名／ホスト名：

接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合はその名前を入力します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでかまいません。

5 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

6 親機とブロードバンドモデムの接続が正しく行われたことを確認し、［OK］をクリックする

7 WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認する

WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデム（ADSLモデム／CATVモデム）と正しく接続されていません。❓WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合（☞P3-46）をごらんください。

8 ［設定終了］をクリックする

9 らくらくウィザード画面に戻り、Step3に✓マークがつくことを確認する

10 ［ウィザード終了］をクリックし、らくらくウィザードを終了する

➡ **これでインターネットに接続するための基本設定は完了です。「5章　インターネットに接続する」（☞P5-1）に進みます。**

3 らくらくウィザードでWARPSTARを設定する

? WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合

● WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。らくらくウィザードの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC→インターネット）の診断］をクリックします。
［IPアドレス情報（WAN）］タブでIPアドレスが表示されているか確認してください。［再取得］でもIPアドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデム（ADSLモデム／CATVモデム）がエラー表示していないか、または親機の背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯しているか確認してください。
(☛P1-12、P2-4）
それでもIPアドレスがとれない場合は、「お困りのときには」（☛P7-8）を参照してください。

〈IPアドレスがとれているとき〉

〈IPアドレスがとれていないとき〉

! ブロードバンドモデムのIPアドレスと親機のIPアドレスが同じときは

次の手順で親機のIPアドレスを変更してください。

① WWWブラウザを起動し「http://web.setup/」と入力し、クイック設定Webを起動します。
② ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。
③ ［詳細設定］の［LAN側設定］を選択します。
④ ［IPアドレス］欄で「192.168.2.1」などIPアドレスの下から2桁目を変更します。

⑤ ［設定］をクリックします。
⑥ ［登録］をクリックします。 ※パソコンを再起動します。

3-3 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

無線 LAN 内蔵のパソコンから WARPSTAR（親機）にワイヤレスで接続してブロードバンドインターネット接続することができます。接続できる NEC 製ワイヤレス機器についてはホームページ Aterm Station（「動作検証情報」－「[WARPSTAR] ワイヤレス LAN 相互接続確認情報」）にて公開しています。

無線 LAN 内蔵パソコンの設定

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンと親機との無線通信を確立する設定を行います。
ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。ここでは、Windows® XP の場合を例に説明しています。

1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯していることを確認する

- 点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
- ワイヤレススイッチには「ホットキー」タイプと「プッシュ式トグルスイッチ」タイプと「スライド式スイッチ」タイプがあります。それぞれのワイヤレススイッチのオン／オフのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

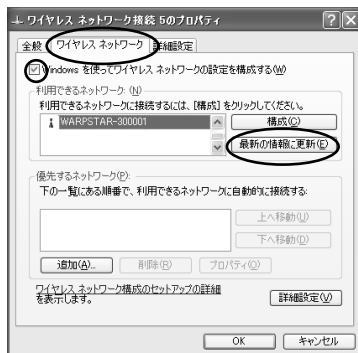
2 [スタート] ー [すべてのプログラム] ー [アクセサリ] ー [通信] ー [ネットワーク接続] をクリックする

「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

3 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

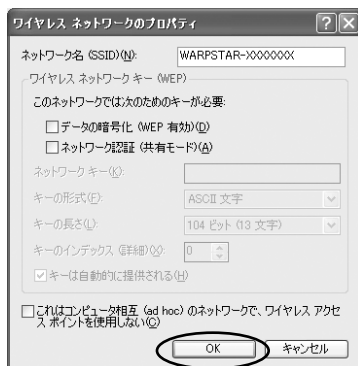
（次ページに続く）

4 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックする

①「Windowsを使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する
②「最新の情報に更新」ボタンをクリックし、「利用できるネットワーク」欄から親機「WARPSTAR-XXXXXX」をクリックし選び「構成」ボタンをクリックする。「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。

お知らせ

●一覧を更新してもWARPSTAR（親機）のネットワーク名が表示されない場合は、一度WARPSTAR（親機）の電源を切り、再び電源を入れた後で、WARPSTAR（親機）前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度「更新」ボタンをクリックしてください。
●WARPSTAR（ベース）の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは親機の側面に記載されているWAN/PCのMACアドレス）の下6桁です。

5 ネットワーク名（ESS-ID）と暗号化（WEP）設定を確認して［OK］をクリックする

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されセキュリティの設定ができますが、出荷状態のままWARPSTARをご使用の際は、暗号キーが設定されていないので、そのままOKを押してください。

お知らせ

●セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを防止することができます。
●セキュリティの設定を行う場合、親機（WARPSTAR）で暗号キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に親機と同じ暗号キーを入力してください。WARPSTAR の暗号キーの設定方法、確認方法については、P6-7 を参照してください。

キーのインデックス（詳細）では 0 ～ 3 が選択できます。
これは、WARPSTAR の［暗号キー/番号］の 1 番～ 4 番に相当します。
数字が 1 つずれていますので注意してください。
（Windows ® XP SP1 の場合は 1 ～ 4 が選択できます。）

6 **［OK］ボタンをクリックする**

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

WARPSTAR の設定

らくらくウィザードまたは、クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行います。

■らくらくウィザードで設定する

「3-1　親機の ETHERNET ポートにパソコンを接続して使用する」（☞P3-3）と同じ手順で設定を行ってください。

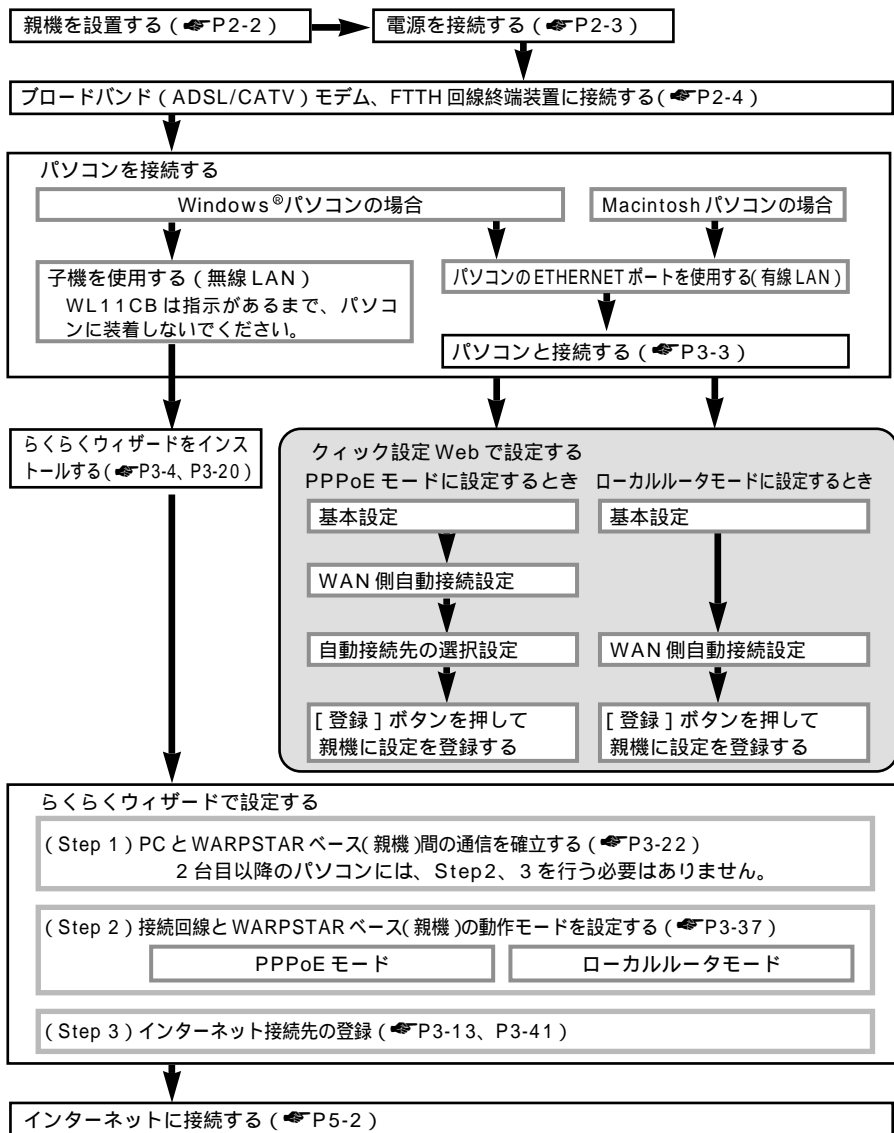
注意

Step1 の「お使いのパソコンと WARPSTAR の接続方法の選択」画面（手順 5）で［ワイヤレス LAN（カード）で接続］やワイヤレス LAN（USB ボックス)］を選択しないようご注意ください。

■クイック設定 Web で設定する

「4 章　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」（☞P4-1）を参照して設定を行ってください。

4 クイック設定Webで WARPSTARの設定を行う

4章では、クイック設定Webでインターネットに接続するまでの設定を説明しています。Windows® 以外のOSのパソコンを接続する場合や、ネットワーク対応のゲーム機を接続して設定する場合は、クイック設定Webで設定します。
また、WARPSTARの各種機能の詳細設定をする場合もクイック設定Webで設定します。
※ 子機を接続する場合やWindows® パソコンでインターネット接続のための基本設定をする場合は、3章を参照してください。

4-1 クイック設定 Web で設定を行うには

親機を接続する

クイック設定 Web で設定を行うには、あらかじめ親機とパソコンを接続しておく必要があります。
親機の ETHERNET ポートに接続する場合 ☞P3-3
ゲーム機を接続する場合 ☞P6-22
子機（WL11CB/WL11CA/WL11C/WL11U）から設定を行う場合は、「3-2 WARPSTAR 子機（WL11CB など）で無線 LAN を使用する」の「STEP1 PC と WARPSTAR ベース（親機）間の通信を確立する」を行った後、設定を行ってください。

クイック設定 Web を利用するための準備

親機と接続できているかどうかは IP アドレスが正しく取得できるかどうかで確認することができます。

■ Windows® XP/2000 Professional の場合

① ［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする。
② “ Ipconfig /renew ” を入力して［Enter］キーを押す。
③ IP アドレスが “ 192.168.0.XXX ” になることを確認する。

■ Windows® Me/98 の場合

① ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
② “ winipcfg ” を入力して［OK］をクリックする。
③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックして “ WL11C（PC-WL/11C）” など親機と接続しているアダプタ名を選択する。
④ ［すべて解放］をクリックする。
⑤ ［再取得］をクリックする。
⑥ IP アドレスが “ 192.168.0.XXX ” になることを確認する。
⑦ ［OK］をクリックする。

■ Macintosh の場合

① アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択する。
② IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.0.X」になっていることを確認する。

4-2 インターネット接続のための基本設定

WARPSTARに接続した回線ごとに動作モードを設定し、インターネットの接続先を登録します。

回線の種別	接続事業者（例）（敬称略）	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT東日本／西日本 Bフレッツ	PPPoEモード
	東京電力 TEPCOひかり	
	ケイ・オプティコム eoメガファイバー（ホームタイプ）	
	IP接続で接続する事業者の場合	ローカルルータモード
ADSL回線に接続	NTT東日本／西日本 フレッツ・ADSL	PPPoEモード
	イー・アクセス（※）	ローカルルータモード
	アッカ・ネットワークス（※）	
	Yahoo! BB	
	その他のADSL接続業者（※）	
CATV回線に接続	―	ローカルルータモード
既存のネットワークに本商品を接続	―	ローカルルータモード

※ プロバイダまたはADSL事業者によっては、ADSLモデムがPPPoEによるブリッジタイプまたは、PPPoEによるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSLモデムをPPPoEによるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品はPPPoEモードを選択してください。

■PPPoEモードの場合 ･････････････☞P4-5
■ローカルルータモードの場合 ･････☞P4-9

お願い

●クイック設定Webの設定は、[登録]をクリックして親機を再起動してからでないと有効になりません。次ページのインターネット接続設定が完了してから[登録]をクリックしましょう。

お知らせ

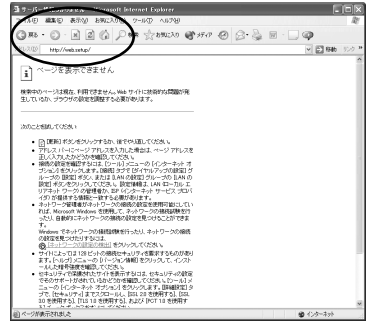
●説明に使用している画面表示は、お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。
●クイック設定Webの画面のデザインは変更になることがあります。
●PPPoEの外付けADSLモデムを使用するとき、ADSLモデムに付属のユーティリティではパソコンを1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はADSLモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。らくらくウィザードまたはクイック設定Webで設定をしてください。

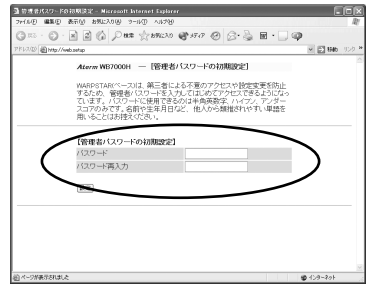
PPPoE モードの場合

ここでは PPPoE モードでインターネットに接続する場合の設定方法を説明しています。

1 パソコンなどを起動する

2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 管理者用パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。
1 度設定すると、次回からは、この画面は出なくなり、手順 5 へ進みます。

4 ［設定］をクリックする

5 ユーザ名とパスワードを入力する

ユーザ名には「admin」と入力し、パスワードには手順 3 で設定した管理者用パスワードを入力してください。
らくらくウィザードですでに管理者パスワードを入力しているときは管理者パスワードを入力します。
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。※パスワード入力画面が表示されないときには（☛P7-6）

6 ［OK］をクリックする

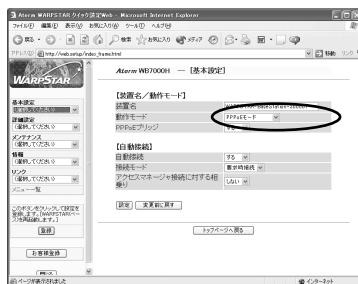
（次ページに続く）

7 ［基本設定］の ▼ をクリックし、［基本設定］を選択する

8 ［装置名］（親機の名称）を変更したい場合は入力する

通常はお買い上げ時の設定のままでかまいません。

9 ［動作モード］を設定する

接続している回線に合わせて親機の動作モードを「PPPoE モード」に設定します。
（☞P4-4）

10 インターネットへの自動接続の設定をする

［自動接続］は、通常［する］を選択してください。［しない］を選択すると、アクセスマネージャでのみ接続できるようになります。アクセスマネージャはホームページ Aterm Station にて公開予定。

［接続モード］サーバなどを設置する場合は［常時接続］それ以外は［要求時接続］に設定します。

［アクセスマネージャ接続に対する相乗り］は、通常は［しない］を選択します。

［する］を選択するとアクセスマネージャを使わないパソコンからでも、アクセスマネージャで接続した接続先を使って通信できるようになります。

11 入力が完了したら、［設定］をクリックする

12 ［基本設定］の ▼ をクリックし、［WAN 側自動接続設定］を選択する

13 ［編集する接続先］の ▼ をクリックして、接続先を選択する

はじめて登録する場合は、［自動接続設定 1］を選択します。

14 プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する

接続先名：

接続先がわかるようにプロバイダの名称を任意に入力します。

ユーザー名：

接続事業者／プロバイダの資料に従って「ログイン ID」（接続ユーザ名）（例：xxxxx@biglobe.ne.jp など）を入力します。

パスワード：

接続事業者／プロバイダの資料に従って接続パスワードを入力します。

IP アドレス：

通常は［IP アドレスの自動取得］を☑［使用する］のまま使用します。

固定 IP サービスなど IP アドレスの自動取得を利用しない場合は、チェックをはずし、IP アドレスを入力してください。

ネームサーバ：

通常は［サーバから割り当てられた IP アドレス］を☑［使用する］のまま使用します。

事業者（プロバイダ）から指定されている場合はチェックをはずし、プライマリ DNS、セカンダリ DNS を入力してください。

認証時の暗号化：

事業者（プロバイダ）から指定がある場合は、指定された認証を選択します。通常は「自動認証」にしてください。

接続先の切断：

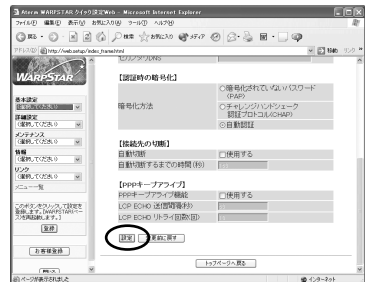
無通信状態が一定時間続いた場合に自動的に切断するかどうかを設定します。

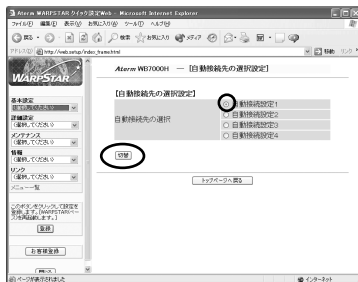
PPP キープアライブ：

PPP キープアライブ機能を使用するかどうかを指定します。

PPP コネクションの状態を監視して、接続先（相手）からの応答がない場合、通信を切断します。再接続は親機の接続モード（常時接続／要求時接続）によって異なります。

15 入力が完了したら、［設定］をクリックする

（次ページに続く）

16 ［基本設定］の ▼ をクリックし、［自動接続先の選択設定］を選択する

17 手順 13 で登録した接続先を選択し、［切替］をクリックする

18 ［OK］をクリックする

19 ［登録］をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

これでインターネット接続のための基本設定は完了です。「5-1　インターネットに接続する」（☞P5-2）に進みます。

ローカルルータモードの場合

ここではローカルルータモードでインターネットに接続する場合の設定方法を説明しています。

1 パソコンなどを起動する

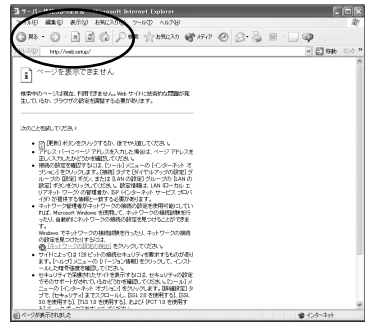
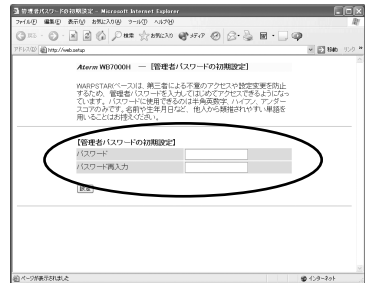
2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定Webのページを開く

親機のIPアドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例：http://192.168.0.1/

3 管理者用パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。
1度設定すると、次回からは、この画面は出なくなり、手順5へ進みます。

4 ［設定］をクリックする

（次ページに続く）

5 **ユーザ名とパスワードを入力する**

ユーザ名には「admin」と入力し、パスワードには手順 3 で設定した管理者用パスワードを入力してください。
らくらくウィザードですでに管理者パスワードを入力しているときは管理者パスワードを入力します。
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。※パスワード入力画面が表示されないときには（☛P7-6）

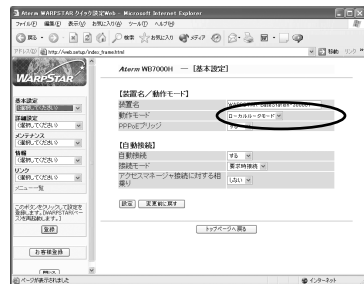
6 **［OK］をクリックする**

7 **［基本設定］の ▼ をクリックし、［基本設定］を選択する**

8 **［装置名］（親機の名称）を変更したい場合は入力する**

通常はお買い上げ時の設定のままでかまいません。

9 **［動作モード］を設定する**

接続している回線に合わせて親機の動作モードを「ローカルルータモード」に設定します。（☛P4-4）

10 **インターネットへの自動接続の設定をする**

［自動接続］は、通常［する］を選択してください。［しない］を選択すると、アクセスマネージャでのみ接続できるようになります。アクセスマネージャはホームページAterm Stationにて公開予定。
［接続モード］サーバなどを設置する場合は［常時接続］それ以外は［要求時接続］に設定します。
［アクセスマネージャ接続に対する相乗り］は、通常は［しない］を選択します。
［する］を選択するとアクセスマネージャを使わないパソコンからアクセスマネージャで接続した接続先を使って通信できるようになります。

11 入力が完了したら、［設定］をクリックする

12 ［基本設定］の ▼ をクリックし、［WAN 側自動接続設定］を選択する

13 プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する

DHCP クライアント機能：

親機の WAN 側をブロードバンド通信網の DHCP クライアントとして利用する場合は［DHCP クライアント機能］の［有効にする］を☑します。親機の WAN 側に固定の IP アドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IP アドレス／ネットマスク：

［DHCP クライアント機能］の［有効にする］の☑をはずした場合で、WAN 側に固定 IP アドレスを使用する場合（プロバイダまたは接続事業者から IP ／ネットマスクを指定されている場合）は、親機の WAN 側の IP アドレス、ネットマスクを設定します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は、特に指定する必要はありません。

ゲートウェイ：

プロバイダまたは接続事業者からデフォルトのゲートウェイが指定されている場合は、親機の WAN 側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリ DNS：

親機の WAN 側の DNS サーバを設定します（DNS サーバが指定されているときに入力します）。

ドメイン名／ホスト名：

親機の WAN 側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでかまいません。

（次ページに続く）

14 入力が完了したら、[設定] をクリックする

15 [登録] をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

これでインターネット接続のための基本設定は完了です。「5-1　インターネットに接続する」（☞P5-2）に進みます。

5 インターネットに接続する

5-1 インターネットに接続する

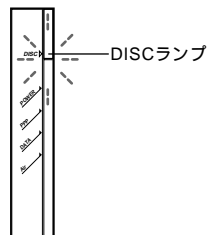
らくらくウィザードまたは、クイック設定Webで接続設定が完了したら、インターネットに接続できるか確認してみましょう。

1 WWWブラウザを起動する

2 外部のホームページを開く

例）ホームページAterm Station ：http://121ware.com/aterm/

3 前面のDISCランプが緑点灯していることで接続を確認する

クイック設定Webで［現在の状態］をクリックして、接続状態の欄で接続されていることを確認することもできます。

インターネットに接続できないときは（「7-1　トラブルシューティング」☞P7-2）

お知らせ

●回線を強制的に切断する場合は､「5-2 インターネットを切断する」の「DISCスイッチで回線を切断する」を参照してください。（☞P5-3）

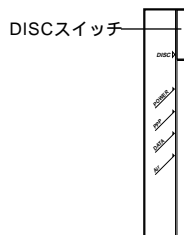
5-2 インターネットを切断する

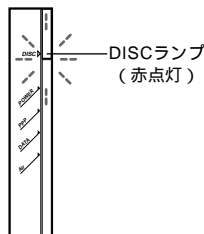
DISC スイッチで回線を切断する

親機前面の DISC スイッチを使ってインターネット接続を切断し、CATV/ADSL 網などの WAN 側との接続を不可にすることができます。
すべてのパソコンからの接続が切断されますのでご注意ください。

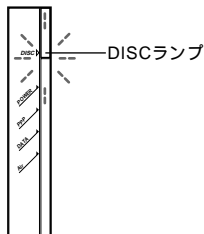
■回線を切断する

1 インターネット接続中に、5 秒以上前面の DISC スイッチを押し続ける

インターネット接続中は DISC ランプが緑点灯しています。

2 インターネットが切断される（2 回ピッピッと鳴ります。）

DISC ランプが赤点灯します。

■通常状態に戻すには

1 DISC ランプが赤点灯している状態で、DISC スイッチを 1 秒間押す（ピッと鳴ります。）

DISC ランプが消灯し、通常状態に戻ります。（接続モードが「常時接続」の場合は、緑点灯します。）

お知らせ

●DISC ランプが赤点灯しているときはインターネットに接続できません。再接続する場合は、DISC ランプをもう 1 度押して通常状態に戻してください。

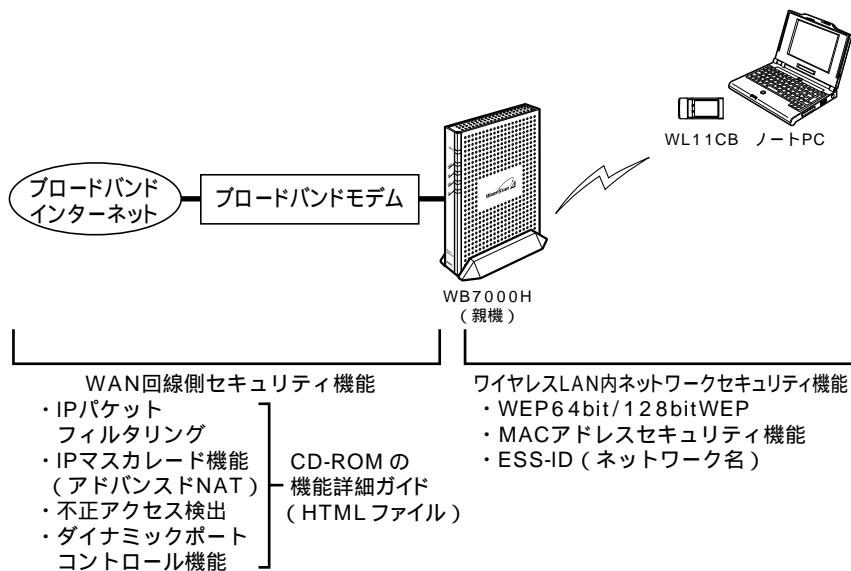
応用編　本商品をさらに使いこなそう

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

6 WARPSTARを活用しよう

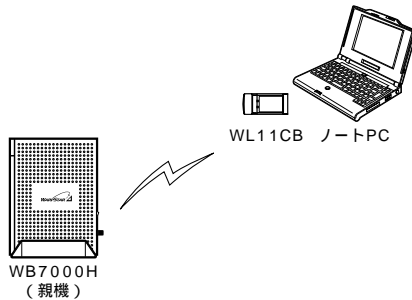
6-1 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（FTTH/ADSL/CATV 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「ワイヤレス LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。
WAN 回線側のセキュリティ対策については、 CD-ROM の機能詳細ガイド（HTML ファイル）を参照してください。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

● インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のあるものから、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、パソコン側のセキュリティ対策もあわせて行っていただくことをおすすめします。

他の無線 LAN パソコンから親機に接続できないようにする

本商品は、他の無線 LAN パソコンから親機や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、ESS-ID ステルス機能、MAC アドレスセキュリティ機能を搭載しています。子機が複数台ある場合は、それぞれの子機からセキュリティの設定を行う必要があります。

■ ESS-ID ステルス機能を設定する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（ESS-ID とも呼びます）があります。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。
一般にネットワーク名は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

1 **パソコンを起動する**

2 **ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

親機の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

3 **ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線 LAN 側設定］を選択する**

6 WARPSTARを活用しよう

（次ページに続く）

5 ［ネットワーク名が不明な場合の参照］を［拒否する］に☑する

6 ［接続を拒否するまでの時間（分)］に親機起動から拒否開始までの時間を分単位で入力する。常に拒否したい場合は“ 0 ”にしてください。

7 ［設定］をクリックする

8 ［登録］をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

■ MAC アドレスセキュリティ機能

MAC アドレスを使ってお使いの本商品が登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、他の子機から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

＜クイック設定 Web で設定する＞

1 パソコンを起動する

2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

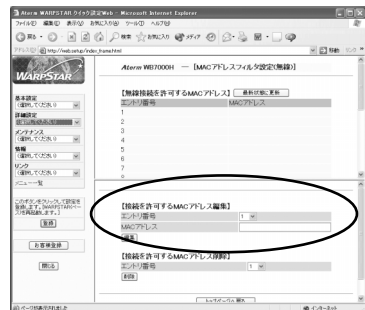
親機の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 ［詳細設定］の ▼ をクリックし、［MAC アドレスフィルタ設定（無線）］を選択する

5 ［接続を許可する MAC アドレス編集］欄で設定する

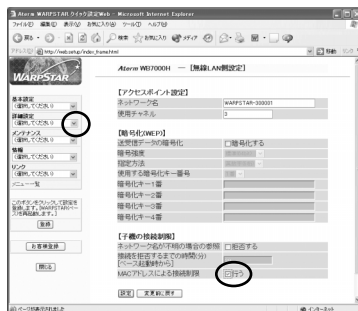
①エントリ番号を選択します。
②登録する子機の MAC アドレスを入力します。
MAC アドレスは 2 文字ずつコロンで区切って入力してください。
例）xxxxxx と入力する場合
→ xx:xx:xx と入力します。
子機の MAC アドレスは子機の裏に記載されています。

6 ［編集］をクリックする

続けて設定する場合は、手順 5 にもどってエントリ番号を変えて設定してください。

7 ［最新状態に更新］をクリックする

設定内容にまちがいがないか確認してください。

（次ページに続く）

8 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線LAN側設定］で、［MACアドレスによる接続制限］を行うに☑する**

9 **［OK］をクリックする**

10 **［設定］をクリックする**

11 **［登録］をクリックする**

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

■無線暗号化（WEP）を設定する

ユーザが指定した任意の文字列（暗号化キー）を親機と子機（子機を使用するパソコン）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、親機と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からのぼう受や盗聴から守ります。

●WEPの設定は必ず親機と子機（子機を使用するパソコン）で同じ設定にしてください。（☞P6-11、P6-14）

＜WEP の設定（親機）＞

親機の WEP の設定は、クイック設定 Web で行います。
子機の設定は OS により異なります。「6-2　子機の通信の設定をする」（☞P6-8）を参照してください。

1 **パソコンを起動する**

2 **ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

親機の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

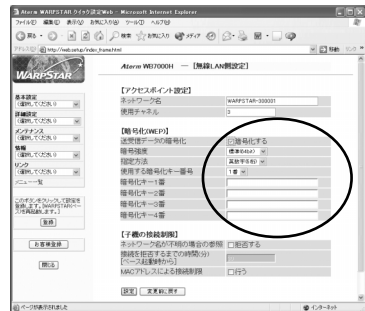
4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線 LAN 側設定］を選択する**

5 **［暗号化（WEP）］の項目で設定する**

①［暗号化する］を ☑します。
②暗号強度を［64bit］、［128bit］から選択します。
③［指定方法］から暗号化キーの種類を［英数字］または［16 進］のどちらかを選択します。
④［使用する暗号化キー番号］を 1 番～ 4 番で選択します。
⑤［暗号化キー 1 番～ 4 番］に暗号化キーを入力します。

6 **［設定］をクリックする**

7 **［登録］をクリックする**

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

6-2 子機の通信の設定をする

**子機の無線通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線LANのデータ保護（暗号化）の設定はサテライトマネージャで行います。
ただし、Windows® XPでは、サテライトマネージャは、ご利用になれません。
Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定を行ってください。****（☛P6-13）**

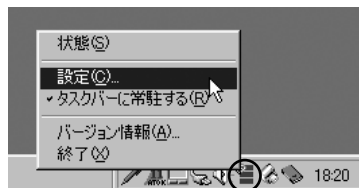
サテライトマネージャの使い方

■サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、「らくらくウィザードのインストール」を参照してインストールしてください。**（☛P3-4）**

■サテライトマネージャを起動する

1 **［スタート］ー［プログラム］ー［AtermWARPSTARユーティリティ］ー［サテライトマネージャ］をクリックする**

2 **タスクトレイの［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックする**

3 **［設定］を選択すると、サテライトマネージャの設定画面が表示される**

無線LANのセキュリティの設定をします。（☛P6-10）

子機の基本設定をします。（☛P6-10）

サテライトマネージャの設定データ（プロファイル）の選択ができます。（☛P6-9）

■プロファイルの設定■

プロファイルとは、サテライトマネージャの「設定データ」を指します。サテライトマネージャでは「設定データ」を最大 4 つまで保存できます。子機の通信相手装置（親機または子機）が複数ある場合、それぞれの通信相手装置ごとのプロファイルを登録しておけば、通信相手を変えるたびに設定データを書き換えなくてもプロファイルの選択を切り替えるだけで接続先を変更できます。

【使用例】

会社と自宅で 2 台の親機を使用したい場合

①まず、サテライトマネージャの［プロファイル］タブで、1 番目のプロファイル（デフォルト）を選択します。
②プロファイル名を、「会社設定」に変更します。
③[基本］タブで会社の親機のネットワーク名を設定します。
④ここで［OK］ボタンを押し、「会社設定」を保存します。
⑤次に、再度サテライトマネージャの［プロファイル］タブで、2 番目のプロファイル（プロファイル 2）を選択します。
⑥プロファイル名を、「自宅設定」に変更します。
⑦[基本］タブで自宅の親機のネットワーク名を設定します。
⑧ここで［OK］ボタンを押し、「自宅設定」を保存します。

上記のプロファイルを設定しておけばサテライトマネージャの「プロファイル」タブで、会社では「会社設定」、自宅では「自宅設定」を選択するだけで会社と自宅の親機の接続を切り替えて使用することができます。

お知らせ

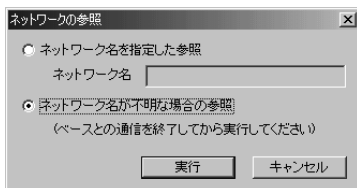
●ここでのプロファイルとはワイヤレス LAN として接続するワイヤレスアクセスポイントの設定のことです。アプリケーションプロファイルとは異なります。

■基本設定をする■

子機の基本設定（通信モード、ネットワーク名など）を設定したり、利用できるアクセスポイントを検索する場合は、「基本」タブをクリックします。

通信モードの設定をします。
・アクセスポイント通信：
親機と子機間で無線LAN接続する場合に使用します。
・パソコン間通信：
子機同士での無線LAN接続に使用します。

チャネル設定をします。このチャネルは、パソコン間通信を行う時に使用するチャネルです。お互いの子機のチャネルを割り当てることにより、パソコン間通信が可能となります。アクセスポイント通信の場合は、親機側のチャネル設定に自動的切りかわります。

接続する親機（アクセスポイント）と同じネットワーク名を入力してください。親機の出荷時設定はWARPSTAR-xxxxxx（xxxxxxは装置側面に貼られているラベルのWAN／PC（MACアドレス）のMACアドレスの下6桁）です。
ネットワーク名がわからない場合は、[ネットワークの参照]をクリックしてください。

※通信モードが「パソコン間通信」の場合、ネットワークの参照は正しく動作しない場合があります。

[ネットワーク名が不明な場合の参照]にチェックを入れ、[実行]をクリックしてください。
親機で「ネットワーク名が不明な場合の参照を拒否」に設定している場合は、[ネットワーク名を指定した参照]にチェックを入れて、ネットワーク名を入力し、[実行]をクリックしてください。

親機に暗号化の設定がされている場合、🔑が表示されます。

接続先のネットワーク名をクリックして［OK］をクリックしてください。

■データ保護（暗号化）の設定をする■

子機のデータ保護設定をします。

＜WEP の設定（子機）＞

1 **タスクトレイの［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックする**

2 **［設定］をクリックする**

3 **[データ保護]タブをクリックする**

4 **[データ保護を有効] を☑する**

5 **[はい] をクリックする**

6 **［暗号強度］から［64bit］［128bit］をクリックする**

7 **［指定方法］から［英数字］または［16 進］をクリックし、キーを入力する**

［1 番］から［4 番］の 4 種類のキーを設定することができます。
親機に登録されている暗号化キーを設定してください。

（次ページに続く）

8 **［使用する暗号化キー］から使用するキーを選択する**

親機で使用するキー番号と同じキー番号を使用してください。キー番号が異なると通信できません。

9 **［OK］をクリックする**

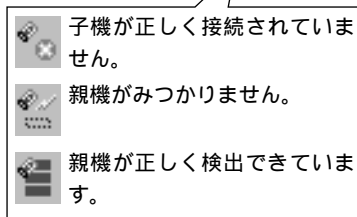
●2 台目以降の子機を追加する場合は、1 台目と同じ暗号化キー番号と同じ暗号化キーを入力してください。

■親機との接続状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、親機と子機の通信状態を確認することができます。

1 **タスクトレイの［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックする**

2 **［状態］をクリックする**

親機と子機の通信状態が表示されます。

3 **通信状態を確認し、［閉じる］をクリックする**

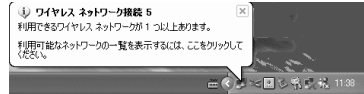
無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは、「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。

ワイヤレスネットワークの設定（Windows® XP の場合）

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されているワイヤレスネットワークの設定で設定します。

●暗号化設定されていない親機に接続する場合（☞ 下記）
●暗号化設定されている親機に接続する場合（☞P6-14）

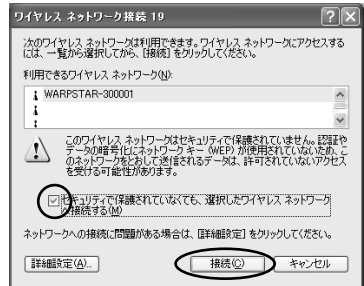
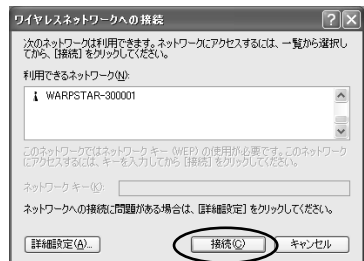
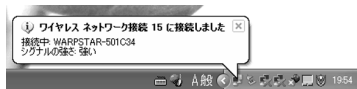
■親機に接続する（親機に暗号化設定されていないとき）

1　パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される

2　パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

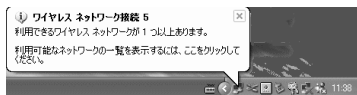
3　「利用できるネットワーク」を選択する

・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は、親機の側面に記載されている WAN/PC（MAC アドレス）の下 6 桁）です。
・［利用できるネットワーク］に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順 1 からやり直してください。
●次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていなくても選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて［接続］をクリックしてください。

4　［接続］をクリックする

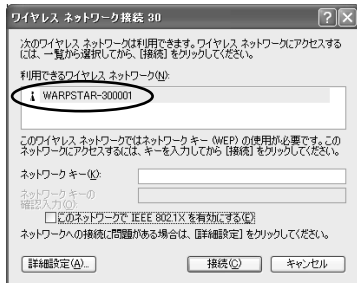
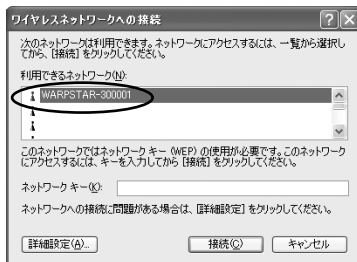
（次ページに続く）

5 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

■暗号化を設定して親機に接続する（親機に暗号化設定されているとき）

以下の設定はWindows® XPのワイヤレスネットワークを使用して64bitWEP/128bitWEPをご利用になる場合の説明です。
※暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

1 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される

2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

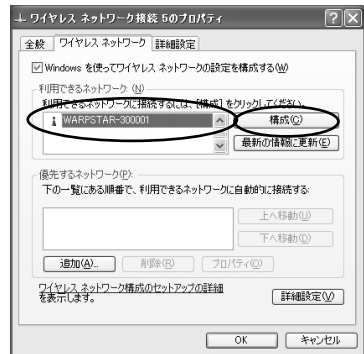
3 「利用できるネットワーク」を選択する

・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは、親機の側面に記載されているWAN/PC（MACアドレス）の下6桁）です。
・［利用できるネットワーク］に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。

<Windows® XP Service Pack 1のとき>

4 ［詳細設定］をクリックする

5 接続する親機のネットワーク名をクリックし、［構成］をクリックする

すでに接続する親機のネットワーク名が［優先するネットワーク］に表示されている場合は、［優先するネットワーク］欄からネットワーク名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

6 ①～④の設定を行う

①［データの暗号化］にチェックする

②［キーは、自動的に提供される］のチェックをはずす

③［ネットワークキー］は、親機に入力した暗号化キーを入力してください。

キーの形式：

親機で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCⅡ文字を選択してください。親機で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

キーの長さ：

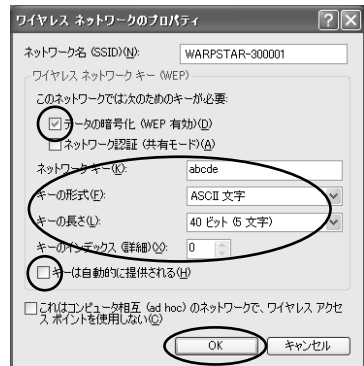
親機で「暗号強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bit を選択してください。親機で「暗号強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bit を選択してください。

キーのインデックス：

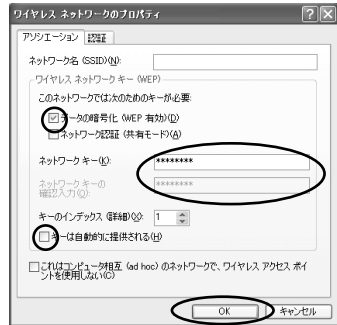
お使いの親機の「使用する暗号化キー」の番号から、1 を引いた数をキーのインデックスに入力する

（親機では、使用する暗号化キーは 1 ～ 4 ですが、ワイヤレスネットワークでは、0 ～ 3 となっているためです。双方のキーを設定する“テーブル”を合わせないと、通信が行えません。）

※親機側は、クイック設定 Web の［無線 LAN 側設定］－［暗号化（WEP)］で使用する暗号化キー番号を確認してください。

④［OK］をクリックする

<Windows® XP Service Pack 1> の場合は画面が異なります。次ページを参照してください。

暗号化設定＜Windows® XP Service Pack1 の場合＞

Windows® XP Service Pack1 をインストールした場合、手順 6 の画面が異なります。
以下の手順で設定を行ってください。
①[データの暗号化]にチェックする
②[キーは、自動的に提供される]のチェックをはずす
③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASC II文字/16 進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASC II文字の場合：英数字 5 文字、または 13 文字で指定（13 文字は親機に 128bitWEP を設定している場合のみ）
・16 進数の場合：０～９・Ａ～Ｆで 10 文字、または 26 文字で指定（26 文字は親機に 128bitWEP を設定している場合のみ）
④WARPSTAR ベースの設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する。
[キーのインデックス]1 ～ 4 番は、WARPSTAR ベースの[使用する暗号化キー]1 ～ 4 番に相当します。
⑤[OK]をクリックする

■親機との通信状態を確認するには

Windows® XP の場合は次の手順で通信状態を確認できます。

1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする

2 [状態] をクリックし、[全般] タブで確認する

3 無線設定が正しく行われていること を確認する

・[状態] は「接続」になっていること
・[速度] が「1～11Mbps」になっていること

6-3 ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する

ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する場合、ネットワークゲームによっては設定が必要な場合があります。あらかじめゲームのWebサイトなどでご確認ください。設定方法には次の方法があります。

1.ポートマッピングを使う
2.PPPoE ブリッジを使う
3.シングルユーザアクセスモードを使う

ここではポートマッピングを使う方法、PPPoE ブリッジを使用する方法を説明しています。シングルユーザアクセスモードについては CD-ROM「機能詳細ガイド」（HTML ファイル）を参照してください。また、アクセスマネージャ（ホームページにて公開予定）のアプリケーションプロファイリング機能を使う方法もあります。

ポートマッピングを設定する

ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行います。

1 **パソコンを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

親機の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

3 **ユーザ名に［admin］と入力し、パスワードを入力する**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［ポートマッピング設定］をクリックする**

5 **［編集する接続先］の ▼ をクリックし、編集する接続先を選択する**

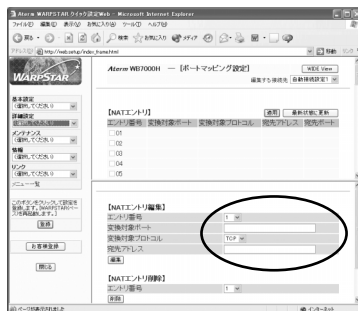
（次ページに続く）

6 ［NAT エントリ編集］欄で設定する

①［エントリ番号］で空いている番号を選択します。
最大 50 個設定できます。

②［変換対象ポート］でポート番号を指定します。

③［変換対象プロトコル］で TCP、UDP から選択します。

④［宛先アドレス］で上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンの IP アドレスを入力します。親機の DHCP サーバ機能を使い、クライアントパソコンに IP アドレスを自動割り当てしている場合は「connectuser」または MAC アドレスを指定します。

7 ［編集］をクリックする

8 ［最新状態に更新］をクリックする

9 ［NAT エントリ］欄で設定したエントリ番号を☑にする

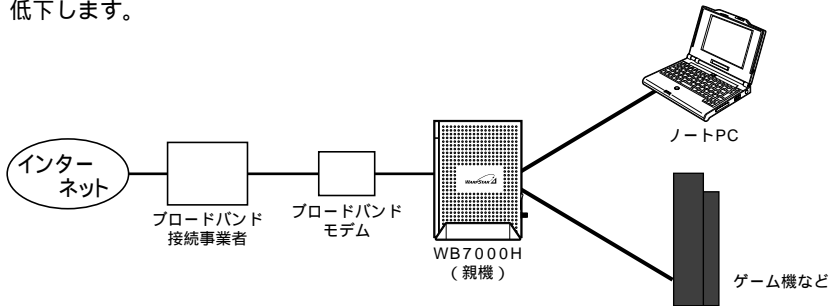
10 ［NAT エントリ］欄で［適用］をクリックする

11 ［登録］をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

●ポート、プロトコルについてはアプリケーションの提供元に確認してください。

PPPoE ブリッジ機能

PPPoE（PPP over Ethernet）プロトコルを搭載しているパソコンやゲーム機などを接続することができます。
親機が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 8 台までです。
PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にご確認ください。
※「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。

■ PPPoE ブリッジ機能でできること

1.PPPoE ブリッジ機能を使うと次のことができるようになります。

（1）Windows® XP でサポートされている次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

リモートデスクトップ
リモートアシスタンス

（2）PPPoE 対応のゲーム機（PlayStation®2 など）を接続できます。

（3）PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、親機のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接親機に接続している ADSL モデムと PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

2.準備

Windows® XP でサポートされている機能を PPPoE ブリッジ機能を使って実現するには次の条件が必要です。

・PPPoE をサービスにしている事業者と契約（NTT のフレッツ・ADSL 等）し、PPPoE 接続していること
・使用する Windows® XP 搭載パソコンがグローバル IP アドレスを取得できること
・これらの機能を使って通信する相手も同様の環境であること

1）PPPoE の接続設定をする
2）パスポート登録をする（リモートデスクトップの場合は必要ありません）

（次ページに続く）

3.利用できること

（1）リモートデスクトップ：パスポートへの登録不要
　接続した相手側のパソコンを完全に操作することができます。
　そのとき接続された方は、接続されていることを表示し、キー入力を拒否します。

（2）リモートアシスタント：以下すべてパスポートへの登録が必要です。
　接続した相手の画面が現在どのように表示されているかを見ることができます。

4.使いかた

（1）PPPoE をサポートしている接続ソフト（広帯域接続）を用いてプロバイダにアクセスします。

（2）各サービスに応じてサービスを起動します。

お知らせ

●アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。

シングルユーザアクセスモード

シングルユーザアクセスモードとは、一時的に全ポートを独占利用することで、チャットやゲームなどのネットワークアプリケーションを利用する際簡単に利用を可能とするモードです。シングルユーザアクセスモードに設定することで、具体的なTCP／UDPポートの設定をすることなく、また、他の人からの相乗りを禁止（排他利用）したい時などでも利用することができます。

※自動接続において、「常時接続」設定では、「シングルユーザアクセス」を利用することができません。かならず、「要求時接続」に変更してください。なお、「要求時接続」では、「通常動作」「シングルユーザアクセス」ともに利用が可能です。

※「シングルユーザアクセスモード」では、外部からのアクセスが可能な状態になり、セキュリティが低下します。

シングルユーザアクセスモードは、各メーカから提供されているTCP／UDPポートの設定情報で動作しないゲームやアプリケーションがある場合のみ使用し、利用時以外は切断することをおすすめします。

■設定方法

<クイック設定 Web >

1 **インターネット接続先を設定する**

3 章または、4 章を参照してください。

2 **［基本設定］のプルダウンメニューから［基本設定］を選択し、［自動設定］欄の接続モードは「要求時接続」を選択する**

3 **［設定］をクリックする**

4 **自動接続をシングルユーザモードにしたいときは、「詳細設定」のプルダウンメニューから「高度な設定」を選択し、「NAT モード」は「シングルユーザアクセスモード」を選択する**

5 **すでに「複数固定 IP サービス」を選択していた場合は、［複数固定 IP サービスを無効にした・・・］画面が表示されるので、［OK］をクリックする。**

6 **［設定］をクリックする**

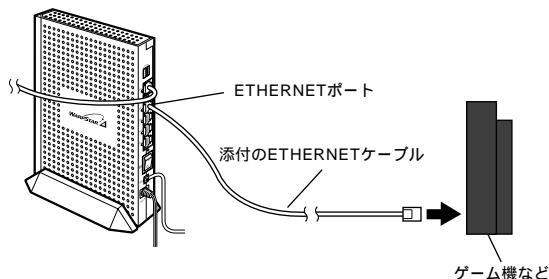
お知らせ

●シングルユーザモードに設定した場合、「DMZ ホスティング機能」、「複数固定 IP サービス」、「UPnP 機能」との併用はできません。

6-4 ゲーム機を接続する

親機の ETHERNET ポートにゲーム機を接続することができます。

1 親機の ETHERNET ポートとゲーム機を ETHERNET ケーブルで接続する

ETHERNET ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

2 ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する

WARPSTAR の設定

WARPSTAR の設定は、WARPSTAR に接続された別のパソコンから行うか、ゲーム機で WWW ブラウザが使用できる場合には、クイック設定 Web で設定します。

■らくらくウィザードで設定する

3-1　親機の ETHERNET ポートにパソコンを接続する（☞P3-3）
3-2　WARPSTAR 子機（WL11CB など）で無線 LAN を使用する（☞P3-19）

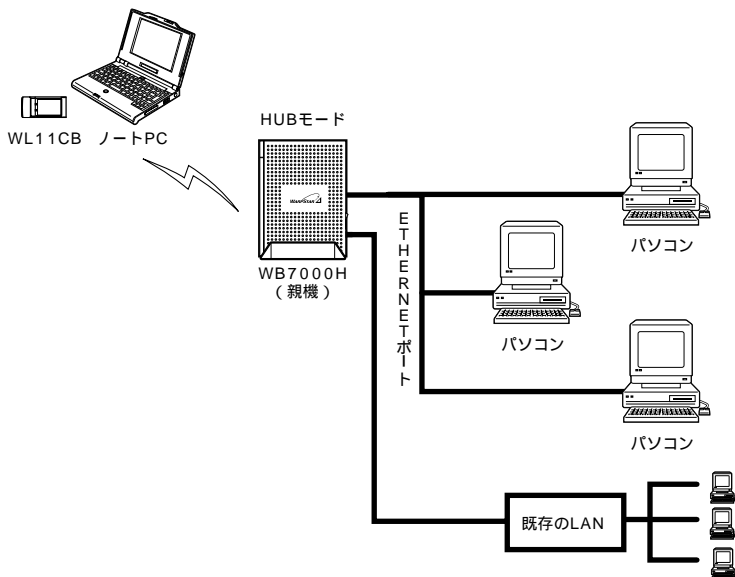
■クイック設定 Web で設定する

4 章　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う（☞P4-1）

 お知らせ

● WL11E（別売り）を子機として使用するとワイヤレスでゲーム機を接続することができます。その場合の設定方法については、WL11E の取扱説明書をご覧ください。

6-5 HUBとして使う（ルータ機能を停止する）

本商品では、HUB（ハブ）モードを利用して、既存のLANに無線のアクセスポイントとして接続したり、ルータタイプのADSLモデムと接続して、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。
本モードは「無線HUBモード」と同じです。
本モード設定によりルータ機能が停止し、HUBおよびワイヤレスアクセスポイントとして動作します。

お願い

●親機をHUBモードに設定すると、全てのルータ機能が利用できません。また、らくらくウィザードやクイック設定Webによる各種設定もできなくなります。設定変更する場合は、ADSLモデムの接続をはずして、ディップスイッチの2を［OFF］にし、HUBモードを解除してかららくらくウィザードやクイック設定Webで設定を変更してください。
●HUBモードをご利用になる場合は、あらかじめらくらくウィザードやクイック設定Webで無線通信に関する設定を行った後、HUBモードに変更してください。
●ADSLモデム等を接続する場合はETHERNETポートに接続してください。

お知らせ

●外付けルータタイプのモデムと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて使用するHUB（無線HUB）モードをご利用ください。
・本商品の持つルータ機能を使用しないとき
・ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

HUB モード設定

HUB モードを設定するときは次の手順で行います。

らくらくウィザードをインストールする（✒P3-4）

らくらくウィザードで設定する　Step 1（Step 2、3 は不要です）

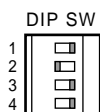
親機の ETHERNET ポートに接続する場合（✒P3-3）
子機で無線 LAN 接続する場合（✒P3-19）

HUB モードに設定する

ディップスイッチで HUB モードに変更します。

1 **親機の電源を切る**

2 **親機背面のディップスイッチの 2 を「ON」にする**

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

DIP SW2
ON ：HUB モード
OFF ：通常モード（初期値）

3 **親機の電源を入れる**

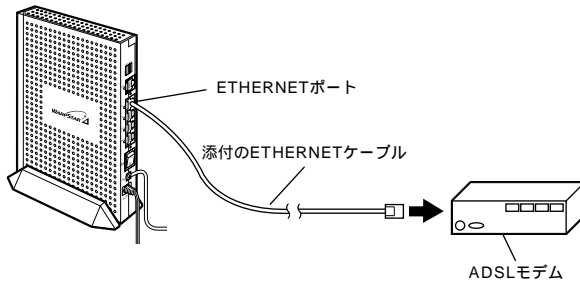
電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔をあけてください。

※ HUB モードから通常モードに戻すには、親機の電源を切ってからディップスイッチの 2 を「OFF」にし、親機の電源を入れなおします。

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

親機とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

1 親機の背面にある ETHERNET ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブルで接続し、モデム、親機の順で電源を入れる

ETHERNET ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

2 親機の背面の ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯することを確認する

ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯すれば、LAN ポートは正しく接続されています。

お願い

● HUB モードでは、親機背面の一番上にあるブロードバンド接続ポートはご利用になれません。ETHERNET ポートに接続してください。

6-6 TV電話をする（Windows Messengerを利用する）

本商品とパソコンのUPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、TV電話をするなど、パソコンのWindows MessengerやMSN Messengerの次の機能をご利用になることができます。

機能名	Windows Messenger Ver4.6以上（Windows® XPをご利用の場合）	MSN Messenger Ver4.6（Windows® Meをご利用の場合）
電話をかける	○	○
インスタントメッセージ	○	○
ファイル転送	○	○
音声チャット	○	○
ビデオチャット	○	機能なし
アプリケーション共有	○	機能なし
ホワイトボード	○	機能なし
リモートアシスタンス（ファイル転送機能）	○	機能なし

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnPの設定をすることで、利用ができます。

お知らせ

- UPnP機能は、Windows® XPまたはWindows® Meのパソコンでのみご利用になれます。
- Windows® 98/2000/NT4.0で、MSN Messenger4.6をご使用の場合、「電話をかける」、「インスタントメッセージ」はご使用頂けます。
- 「電話をかける」サービスは、別途ADSL接続事業者とのご契約が必要です。
- フレッツ・ADSLなどのPPPoEが使用できる環境では、PPPoEブリッジを使用することで、1台のパソコンのみで利用ができます。

6-7 親機をバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、親機に新しい機能を追加したり、場合によっては、親機の操作を改善します。
［用語］ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

Aterm Stationからダウンロードしてきた最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。Windows® 以外のOSはクイック設定Webの「メンテナンス」のプルダウンメニューから「ファームウェア更新」で行ってください。（CD-ROM 機能詳細ガイド）

お願い

- バージョンアップ中は絶対に本商品の電源を切らないでください。
- ファームウェアをバージョンアップするときは、現在使用しているユーティリティでバージョンアップしてください。そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ（Windows® XPの場合は「通知領域」）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

■Windows® の場合

1. **Aterm Station（http://121ware.com/aterm/）にアクセスする**
2. **バージョンアップの項目からお使いの機種とOSを選択し、［GO］をクリックする**
3. **内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする**
4. **ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する**
5. **ダウンロードしたファイルをダブルクリックする**
   インストールが始まります。
   詳細は、各ユーティリティのセットアップのページやAterm Stationの説明をお読みください。

こんなときには

－ POWER ランプがずっと赤点滅したままになっている－

● バージョンアップに失敗しています。その場合には、NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理は、すべて持ち込み修理となります。

お知らせ

●親機のファームウェアのバージョンアップは「クイック設定 Web」で行うこともできます。バージョンアップの方法については、CD-ROM「機能詳細ガイド」（HTML ファイル）を参照してください。

6-8 2台目以降のパソコンを接続する

子機を増設する

あとから子機を増設するには、次の手順で設定を行ってください。

親機にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、「6-1 セキュリティ対策をする」(☞P6-2)を参照して設定をしてください。

らくらくウィザードをインストールする(☞P3-20)

らくらくウィザードで設定する
「Step1 PCと親機間の通信を確立する」(☞P3-23)のみ行ってください。
Step2以降は、1台目のパソコンから設定した内容が親機に書き込まれていますので設定の必要はありません。

親機との通信状態を確認する(☞P6-12、P6-16)

増設した子機からのインターネット接続を確認する(☞P5-2)

お知らせ

●親機に接続できる子機は「8-2 別売オプション」(☞P8-6)やホームページAterm Station(「動作検証情報」ー「[WARPSTAR]ワイヤレスLAN相互接続確認情報」)で確認してください。

ご参考

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

7 お困りのときには

7-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、添付 CD-ROM 収録の電子マニュアル「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。（☞P 前文-16）
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、親機を初期化し（☞P7-22）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が消去されますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（CD-ROM 機能詳細ガイド）

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

親機前面の POWER ランプは点灯していますか？ →いいえ（a 参照☞P7-3）

↓はい

親機背面のブロードバンド状態表示 LED は点灯していますか？ →いいえ（b 参照☞P7-3）

↓はい

親機と正しく接続できていますか？

子機からの接続の場合	親機と正しく接続されていますか？（らくらくウィザードで「親機との通信が確立されていません」と表示される場合は正しく接続されていません）

→いいえ（c 参照☞P7-4）

↓はい

パソコンに IP アドレスが設定されていますか？
（確認方法は、P7-5 を参照してください）
→いいえ（d 参照☞P7-5）

↓はい

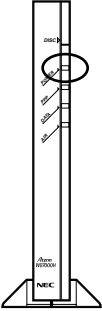
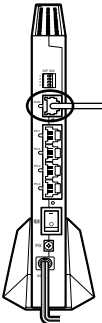
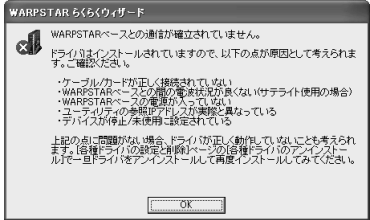
親機の設定が行えますか？

- WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定画面が表示できますか？ →いいえ（e 参照☞P7-6）
- らくらくウィザードが使用できますか？ →いいえ（f 参照☞P7-7）

↓はい

＜PPPoE モードの場合＞
設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？ →いいえ（g 参照☞P7-7）

＜ローカルルータモードの場合＞※
・WAN 側 IP アドレスが正しく表示されていますか？
・クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］－［状態表示］で WAN 側 IP アドレスが表示されていますか？
→いいえ（h 参照☞P7-8）

↓はい

インターネットに接続できましたか？ →いいえ（i 参照☞P7-9）

※ローカルルータモードの場合は、PPP ランプは点灯しません。

a.親機前面の POWER ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●電源コードがはずれている →電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 ●電源スイッチが入っていない →電源スイッチの［I］（オン）側を押してください。 ●電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると親機に供給されている電源も切れてしまいます。 ●電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントからはずしてお買い上げいただいた販売店や NEC 保守サービス受付拠点にご相談ください。 ●親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b.親機背面のブロードバンド状態表示 LED が点灯しない

症　状	原因と対策
ブロードバンド接続ポートの状態表示 LED が点灯しない。	●ブロードバンドモデム（ADSL モデム/CATV ケーブルモデム）の電源が入っていない。 →ブロードバンドモデムの電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 ●HUB モードになっていて、CATV ケーブルモデムとブロードバンド接続ポートを接続していると点灯しません。 →HUB モードを解除するか、ETHERNET ポートへ接続してください。

7
お困りのときには

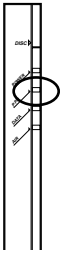
c.らくらくウィザードで「親機との通信が確立されていません」と表示されている

症　状	原因と対策
らくらくウィザードで「親機との通信が確立されていません」と表示されている WARPSTAR らくらくウィザード WARPSTARベースとの通信が確立されていません。 ドライバはインストールされていますので、以下の点が原因として考えられます。ご確認ください。 ・ケーブル/カードが正しく接続されていない ・WARPSTARベースとの間の電波状況が良くない(サテライト使用の場合) ・WARPSTARベースの電源が入っていない ・ユーティリティの参照IPアドレスが実際と異なっている ・デバイスが停止/未使用に設定されている 上記の点に問題がない場合、ドライバが正しく動作していないことも考えられます。[各種ドライバの設定と削除]ページの[各種ドライバのアンインストール]で一旦ドライバをアンインストールして再度インストールしてみてください。 OK	●子機（WL11CB）からの接続の場合は、サテライトマネージャで無線が正しく通信できているか確認してください（☛P6-12）。 通信状態が範囲外または使用不可の場合サテライトマネージャの設定を確認してください。 ●クイック設定Webなどでモードの変更、接続先の登録や更新等、ファームウェアのバージョンアップを行った場合などにも、親機が一時的に機能停止状態になるため、このメッセージが表示されます。 ●データ保護（WEP）の暗号化キーが親機、子機間で一致していない 親機と子機の設定を確認してください（☛P6-7、6-11、6-14）。 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートを空ける。 （アドレス：192.168.0.＊、TCPポート番号：23/53/75/80、UDPポート番号：69/161） ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールしてください。
親機とワイヤレス子機間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで子機を移動したり、親機や子機の向きをかえたりして電波状態を確認してください。 ●別売りのワイヤレスLAN外部アンテナ（PA-WL/ANT1）〔121ware（http://121ware.com/）で購入可能〕をご使用ください。ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）

d.パソコンに IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	● パソコンの設定で「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、b の手順で再度パソコンのアドレスを確認する。 b. 次の手順で IP アドレスを取り直す ＜ Windows® XP の場合＞ ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。 ＜ Windows® Me/98 の場合＞ ①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックします。 ②「winipcfg」と入力して［OK］をクリックします。 ③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから、使用している Ethernet アダプタ名を選択します。 ④［解放］をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは［OK］をクリックします。 ⑤［書き換え］をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。 ＜ Windows® 2000 Professional の場合＞ ①［スタート］－［プログラム］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。

（次ページに続く）

e.WWW ブラウザで設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックします。 ②［プロキシサーバを使用する］の［詳細］をクリックして、例外に「web.setup」を入れてください。 ●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。親機の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります（☞P1-16、1-22)。
WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求される	●WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求されます。 →ユーザ名には、［admin］を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで親機に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。 ただし、らくらくウィザードから親機に対して、パスワードを登録した場合は、そのパスワードを入力してください。
ページが正常に開けない	●JavaScript が無効に設定されている →WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください（☞P1-23)。
	複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから本商品を設定するには「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web 画面は開きません。Web ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割りあてられた本商品のグローバル IP アドレス（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。
クイック設定 Web が開かない	ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください（☞P1-17)。

f.らくらくウィザードが使用できない

症　状	原因と対策
パソコンのネットワークの設定が正しくされていない	「パソコンのネットワークの確認」の手順で設定を確認してください（☛P1-17）。
らくらくウィザードの［Step1　PCとWARPSTARベース間の通信を確立する］が正常に終了しない（☛P3-7）	ETHERNETポートにパソコンを接続している場合は、IPアドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンのIPアドレスを自動取得に設定してみてください。 子機から接続している場合は、P7-4らくらくウィザードで「親機との通信が確立されていません」と表示されているの原因と対策を参照してください。

g.PPPoEモードで親機前面のPPPランプが点灯しない

症　状	原因と対策
PPPランプが点灯しない	●パソコンからWWWブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoEモードの場合、インターネットへ通信が開始された時点でPPPランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPPランプが速い点滅をしている	●ブロードバンドモデムのWAN側が接続されていることを確認してください。ADSLモデムをご使用の場合、ADSLリンクが確立していることを確認してください。 NEC製のADSLモデムをご使用の場合はモデム前面のLINEランプが点灯します。LINEランプが点滅している場合はADSLモデムの取扱説明書を参照して対策してください。 対策後、パソコンからWWWブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoEモードの場合、インターネットへ通信が開始された時点でPPPランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPPランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している	●プロバイダ等から送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ●接続ユーザー名、接続パスワードが間違っている 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 パスワード：半角、全角、大文字、小文字 をあわせてください。 接続ユーザー名@XXXX.ne.jpと入力するのが一般的です。

（次ページに続く）

7 お困りのときには

h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

症　状	原因と対策
クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない	●ブロードバンドモデムが WAN 側に接続されていることを確認してください。 ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 ●ブロードバンドモデムの電源が入っているか確認してくだい。 ●接続事業者から指定された IP アドレス情報が正しく設定されているか確認してください。 らくらくウィザード（☞P3-13、3-41） クイック設定 Web（☞P4-7、4-11） ●ブロードバンドモデムの設定が合っているか確認してください。動作モードが PPPoE ブリッジモードの場合は WARPSTAR の動作モードは PPPoE モードでご使用ください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている場合、ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと本商品の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ケーブルモデムの電源を一旦切って、20 ～ 30 分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●本商品 WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP の解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。 ●CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の［WAN 側自動接続設定（ローカルルータ）］からドメイン名やホスト名を入力してください。 ●CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の［WAN 側自動接続設定（ローカルルータ）］からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ●CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。 親機の WAN/PC の MAC アドレスを申請してください。

i.インターネットに接続できない

● ADSL 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	● WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 → LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください（☛P1-17）。
インターネット接続中に回線が切断される	● ADSL（PPPoE）モードの場合、無通信監視タイマで自動切断される場合があります。 無通信監視タイマはクイック設定 Web の［WAN 側自動接続］の［接続先の切断］で設定できます。
外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない	● WAN 側と LAN 側の IP アドレスが同じになっている。 →次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 ①IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」が"0.0.0.0"になっている LAN 側（本商品）：パソコンの IP アドレスを確認する ②IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を変更します。 "192.168.2.1"など下から 2 桁目を変更して、［OK］ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。 ● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 再取得］ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 ［IP 再取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない（つづき）	●外付けルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 →次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 (1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」が "0.0.0.0"になっている LAN 側（本商品）：パソコンの IP アドレスを確認する (2) IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.2.1" など下から 2 桁目を変更して、［OK］ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。 ●次の手順で親機を HUB モードに設定して接続できるか確認してください。 ①親機の電源を切る ②ディップスイッチの 2 を ON にする ③親機の電源を入れる ④親機のブロードバンド接続ポートと ADSL モデムを接続しているケーブルを外す ⑤親機の ETHERNET ポートと ADSL モデムを接続する これでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。
ADSL（PPPoE）接続できない	●ユーザ ID とパスワードが間違っている →ADSL インターネット接続のユーザ ID は、「*******@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザ ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ●使用する親機の動作モードは正しいですか。 →外付け ADSL モデムに接続して使用する場合、お使いの ADSL モデムによって本商品の動作モードが異なります。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。 ●パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows® XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 →パソコンの PPPoE 機能を使用すると ADSL サービスによっては、パソコンを 1 台しか接続できません。複数のパソコンを同時に接続できる ADSL サービスを契約せずに、同時に 2 台以上接続したい場合は、ADSL モデム用の PPPoE 接続専用ソフトウェアをパソコンからアンインストールしたり、Windows® XP の PPPoE 機能の使用は止めて、再度、本商品のユーティリティで設定し直してください。

症　状	原因と対策
ADSL（PPPoE）接続できない （つづき）	●フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、本商品の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
ADSL（PPPoE）接続に成功してもホームページが開けない	●IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。
HUB モードで使用しているが、インターネット接続できない	●ADSL モデムをブロードバンド接続ポートに接続していませんか。 HUB モードではブロードバンド接続ポートは使用できません。

（次ページに続く）

● CATV 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	●回線側の IP アドレスが取得できていない。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん「IP 解放」をクリックしてから「IP 再取得」をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたケーブルモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている。 →ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。親機の WAN/PC の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 →CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して WAN 設定の編集からドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 →CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して WAN 設定の編集からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>WAN 側 IP アドレスが取得できない</td><td rowspan="2">●ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。
●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
→クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」をご確認ください。
IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 再取得] ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
[IP 再取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。
→CATV 接続事業者によっては、ルータからの IP アドレス取得の要求があると IP アドレスがクリアされてしまう場合があります。
クイック設定 Web で設定した接続先の場合は、「WAN 側自動設定」で「IP アドレスの自動取得」の「使用する」のチェックを外します。
●CATV ケーブルモデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。
→次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。
(1) IP アドレスを確認します。
WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」が "0.0.0.0"になっている
LAN 側（本商品）：パソコンの IP アドレスを確認する
(2) IP アドレスを変更します。
クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.2.1" など下から 2 桁目を変更して、[OK] ボタンをクリックします。
パソコンを再起動します。</td></tr>
<tr><td>しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、「0.0.0.0」になってしまう</td></tr>
</table>

ユーティリティに関するトラブル

●らくらくウィザードに関する問題

症　状	原因と対策
Windows® XP/2000で、らくらくウィザードがインストールできない	●Administrator権限のあるユーザでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザではインストールが行えません。
らくらくウィザードのメニューボタンに押せないものがある	●親機の電源が入っていない。 →親機の電源が入っているか確認してください。 ●インストール時の設定が完了されていない場合は、一部のボタンは使えません。 ドライバのインストールが正しく行われていない場合は、最初に「ドライバのアンインストール」を実行して古いドライバを削除してから、らくらくウィザードを起動してドライバのインストールと基本の設定をやり直してください。
Windows® XPで子機のドライバがインストールできない	●ご使用のパソコンにWindows® XPに付属の無線LANドライバが組み込まれている場合は、ドライバが自動的に組み込まれます。 →以降の設定は、Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定で行ってください。Windows® XPで子機をご利用の場合はサテライトマネージャを使用できません。

●クイック設定 Web に関する問題

症　状	原因と対策
バージョンアップに失敗して、親機の POWER ランプが赤点滅している	●フラッシュ ROM に書かれているプログラム（ファームウェア）が消えています。 →NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります（☞P8-10）。
管理者パスワードを忘れてしまった	●親機を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます（☞P7-22）。 ただし、クイック設定 Web の［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復旧させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。 （CD-ROM 機能詳細ガイド）
本商品のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。「情報」の「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
［設定］ボタンを押しても、状態が反映されない	●登録ボタンを押していない。 →各設定項目において、設定ボタンを押しても状態は反映されません。 左側フレーム内の［登録］ボタンを押し、親機を再起動する必要があります。
［登録］ボタンを押した後に、「ページを表示できません」と表示される	●親機が再起動しているためです。 →［登録］ボタンを押すと、親機が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。

（次ページに続く）

●サテライトマネージャに関する問題

症　状		原因と対策
子機が使えない	［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●親機の電源が入っているか確認してください。 ●通信モードがあっているか確認してください。親機との通信は「アクセスポイント通信」で使用します。 ※通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「設定」を選択して、「基本設定」で確認します。 ●ネットワーク名（ESS-ID）があっているか確認してください。 親機の設定値は、クイック設定Webの「詳細設定」の「無線LAN側設定」内の「アクセスポイント設定」で確認できます。 ※親機の出荷時設定は、WARPSTAR- xxxxxx（xxxxxxはWAN/PC（MAC アドレス）の下6桁）です。 ●通信モードが「パソコン間通信」の場合は、チャネル番号が一致しているか確認してください。 ※通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「設定」を選択して、「基本」で確認します。 ●親機との距離が離れすぎていないか確認してください。 ●子機のランプのつき方（☞P1-13）を確認してください。 消灯している場合は子機が親機を正しく認識していません。らくらくウィザードの［インストール時の設定］－［PCとWARPSTARベース間の通信を確立する］で親機との通信の設定をやり直してください。
	［サテライトマネージャ］は使える状態（青表示）になるが親機に接続できない	●データ保護を有効にしている場合は、親機とキーが一致しているか確認してください（☞P6-7、6-11、6-14）。
	ネットワーク名を忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNETポート）のパソコンから、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］で設定し直してください（☞P6-3）。 ●サテライトマネージャの設定画面の「ネットワークの参照」で、「ネットワーク名が不明な場合の参照」をクリックして親機を検索してください。ネットワーク名とアクセスポイント名で本体を識別 できます。 ●本体背面のディップスイッチ設定による初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください（☞P7-23）。出荷時のネットワーク名の設定は「WARPSTAR-xxxxxx」になっています（xxxxxxは本体側面のWAN（MACアドレス）の下6桁）です。

症　状		原因と対策
子機が使えない（つづき）	「ネットワークの参照」で親機がみつからない	●電波状態により「ネットワークの参照」で親機の電波を検出できない場合があります。このような場合は、「ネットワークの参照」で「ネットワーク名を指定して参照」に直接ネットワーク名（ESS-ID）を入力して検索し直してください。 ●クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］の「子機の接続制限」で「ネットワーク名が不明な場合の参照を拒否する」に設定している場合は、親機の電源を入れてから指定した時間しか「ネットワークの参照」に応答しません。 親機の電源を入れ直して検索し直すか、ETHERNET接続のパソコンから「子機の接続制限」をはずして、「ネットワークの参照」で検索してください。 ●子機のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●Ethernetインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボードの機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードおよびLANボードの機能を停止させてから、らくらくウィザードの設定を行ってください（☛P3-35、3-36）。
	データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	●ETHERNETポートに接続したパソコンから、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］で設定し直してください（☛P6-4）。 ●親機を工場出荷状態に戻してください。暗号化がすべてクリアされます（☛P7-23）。

ご利用開始後のトラブル

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>時々通信が切れる</td><td rowspan="3">●ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特にADSLモデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。</td></tr>
<tr><td>途中から通信速度が遅くなった</td></tr>
<tr><td>通信が切断されることがある</td></tr>
<tr><td>使用可能状態において突然「IPアドレス 192.168.0.xxx　は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</td><td>●［OK］をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行ってIPアドレスを再取得してください。
＜IPアドレスの再取得＞
＜Windows® XPの場合＞
①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。
②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。
③IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。
＜Windows® Me/98の場合＞
①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
②「winipcfg」を入力して［OK］をクリックします。
③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択します。
④［解放］をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になることを確認します。
「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。
⑤［書き換え］をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。
＜Windows 2000® Professionalの場合＞
①［スタート］－［プログラム］－［コマンドプロンプト］をクリックします。
②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。
③IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</td></tr>
</table>

症　状		原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない （PPPoE モード、ローカルルータモード共通）		●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。 パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、上記を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。 b. 上記の「IP アドレスの再取得」を行ってください。
前回はできたのにインターネット接続ができない （PPPoE モードの場合）		●ブロードバンドモデムの電源が入っていることを確認してください。 ●ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない （ローカルルータモードの場合）		●ブロードバンドモデムの電源が入っていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデムと本商品の電源投入順序によっては本商品の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP の解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。
本商品が正常に動作しないが、原因がわからない	設定に誤りがある	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。

（次ページに続く）

症　状		原因と対策
らくらくウィザードが使用できない	使用可能状態において突然、「Aterm WARPSTARが見つかりません。・・・」と表示される	●［OK］をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 <Windows® Me/98SEの場合> ①「スタート」「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。 ②"winipcfg"を入力して［OK］をクリックします。 ③使用しているEthernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから親機と接続しているアダプタ名(Aterm WL11C（PC-WL/11C))を選択します。 ④「解放（S)」をクリックして、IPアドレスが0.0.0.0になることを確認します。「IPアドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤「書き換え（N)」をクリックして、IPアドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認します。 <Windows® 2000 Professionalの場合> ①「プログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします。 ②"ipconfig /renew"を入力して［Enter］キーを押します。 ③IPアドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認します。 <Windows® XPの場合> ①「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします。 ②"ipconfig /renew"を入力して［Enter］キーを押します。 ③IPアドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認します。

添付の CD-ROM に関するトラブル

症　状	原因と対策
メニュー画面を表示したくない	CD-ROM をセットすると、メインメニュー画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合はメニューの［終了］をクリックします。 ●Windows® XP/Me/2000 Professional/98 の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。 ●Windows® Me/98 の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます（ただし、本商品だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります）。 ①［コントロールパネル］の［システム］をダブルクリックする ②［デバイスマネージャ］タブの［CD-ROM］をダブルクリックする ③使用する CD-ROM ドライブをクリックし、［プロパティ］をクリックする ④［設定］タブをクリックする ⑤［オプション］の［自動挿入］または［挿入の自動通知］のチェックをはずす ⑥［OK］をクリックし、Windows® Me/98 を再起動する

7-2 親機を初期化する

初期化とは、親機に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。親機がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、親機を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定Webで初期化する（☛ 下記）
ディップスイッチで初期化する（☛P7-23）

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした親機のファームウェアはそのままです。

クイック設定Webで初期化する

1 **パソコンを起動する**

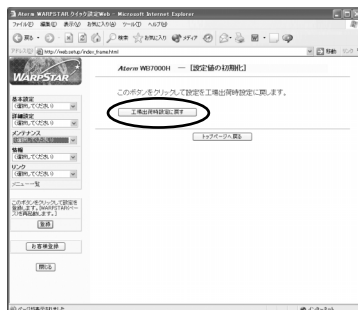
2 **ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く**

親機のIPアドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK]をクリックする**

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **[メンテナンス]の ▼ をクリックし、[設定値の初期化]を選択する**

5 **[工場出荷時設定に戻す]をクリックする**

6 **[OK]をクリックする**

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

ディップスイッチで初期化する

親機のディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、背面にあります。

1 親機の電源を切る

2 親機の背面のディップスイッチの3、4を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

3 親機の電源を入れる

前面ランプが交互に点滅したあと、POWER ランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

4 親機の電源を切る

5 ディップスイッチの3、4を「OFF」に戻す

6 親機の電源を入れる

お願い

- ●親機の設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。
- ●電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。
- ●暗号化を行っていた親機を初期化した場合、暗号化の設定も初期化されるので、子機から親機に接続できなくなります。子機の暗号化設定を解除してください。

7-3 自己診断

自己診断を行うと、親機のハードウェアに異常がないかを確認することができます。

●自己診断中は、電源を切らないでください。電源を切ると、設定内容が正しく保持されないことがあります。

自己診断を行う

1 親機のETHERNETポート、ブロードバンド接続ポートに接続されているケーブルを取りはずす

2 親機の電源を切る

3 ディップスイッチの3を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

DIP SW
1
2
3
4

4 親機の電源を入れる

自己診断を開始します。
＜診断中のランプ表示＞
POWERランプが橙色に点灯します。
↓
正常に終了すると「ピピピ…」とブザーが鳴り、POWERランプが橙色／緑色と交互に点滅します。

5 親機の電源を切る

6 ディップスイッチの3を「OFF」に戻す

DIP SW
1
2
3
4

7 親機の電源を入れる

電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。

8 取りはずしたケーブルを接続する

異常が発見されたときは

●自己診断の手順4で、正常に終了せず、異常が発見されたときは、最寄りのNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。（☛P8-10）

8

付録

8-1 製品仕様

WB7000H（親機）ハードウェア仕様

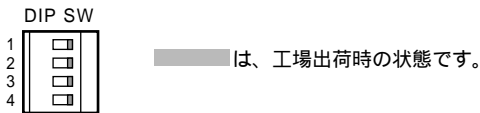
項　目		諸元および機能	備　考
WAN インタフェース	インタフェース	ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX/10BASE-T）	Auto MDI-X 対応
	データ転送速度	100Mbps/10Mbps	
LAN インタフェース	物理インタフェース	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）×4 ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T	Auto MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	スイッチング HUB	ストア&フォワード方式、Mac アドレス数：1024（自動学習）	
	全二重／半二重	全二重／半二重	自動切換
無線 LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b（無線 LAN 標準プロトコル）RCR STD-33、ARIB STD-T66（小電力データ通信システム規格）	
	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2400 〜 2497MHz）／ch1 〜 ch14	
	伝送方式	DS-SS 方式（スペクトラム直接拡散方式）	
	伝送速度（※ 1）（Mbps）	11.0/5.5/2.0/1.0	
	伝送距離	屋外：50m（11Mbps）〜 115m（1Mbps） 屋内：25m（11Mbps）〜 50m（1Mbps）	環境により変動
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）	
	セキュリティ	ESS-ID、WEP/128bitWEP、MAC アドレスフィルタリング	
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ POWER	電源通電時点灯	
	状態表示ランプ PPP	PPP セッション確立時点灯	
	状態表示ランプ DATA	データ通信時点灯	
	状態表示ランプ AIR	無線データ通信中点灯	
	状態表示ランプ DISC	WAN 側と接続中点灯	
動作環境		温度 0 〜 40 ℃ 湿度 10 〜 90%	結露しないこと
外形寸法		約 25（W）× 157（D）× 215（H）mm	突起部分を除く
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力		最大 8W	
質量(本体のみ)		0.6kg	
VCCI		VCCI クラス B	

※表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

WB7000H のディップスイッチ

親機の背面にディップスイッチ（DIP　SW）があります。ディップスイッチは以下の①〜③の場合にのみ変更してください。それ以外のときは変更しないで工場出荷時の設定でお使いください。

①自己診断するとき（☞P7-24）
②購入したときの状態に戻すとき（☞P7-22）
③HUB モードを利用するとき（☞P6-23）

●ディップスイッチ工場出荷時の設定

▭は、工場出荷時の状態です。

●ディップスイッチの変更

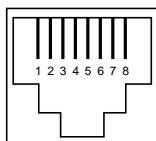
1	2	3	4	内容
OFF	OFF	OFF	OFF	通常
OFF	OFF	**ON**	OFF	自己診断
OFF	OFF	**ON**	**ON**	購入したときの状態に戻す
OFF	**ON**	OFF	OFF	HUB モード

▭は、工場出荷時の状態です。

お知らせ

●電源を入れたままでディップスイッチを変更したときは、電源をいったん切って再び入れ直すとディップスイッチの設定が有効になります。

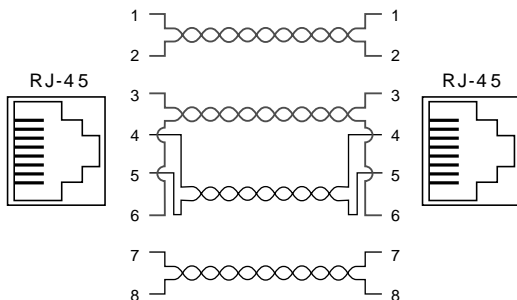
WB7000HのETHERNETポートインタフェース

コネクタ形状

●ETHERNETポート
（100BASE-TX／10BASE-T）

ピン番号	略称	機能
1	RD＋	受信データ　＋
2	RD－	受信データ　－
3	TD＋	送信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD－	送信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

●ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD＋	送信データ　＋
2	TD－	送信データ　－
3	RD＋	受信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD－	受信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ETHERNETケーブル（カテゴリー5）

WL11CB（子機）仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸　元	備　考
端末インタフェース		PCカード TYPE II	
無線LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b RCR STD-33、ARIB STD-T66	無線LAN標準プロトコル 小電力データ通信システム規格
	周波数帯域／チャネル	2.4GHz帯（2400～2497MHz）／ch1～ch14	
	伝送方式	DS-SS方式（スペクトラム直接拡散方式）	
	伝送速度（※1）（Mbps）	11.0/5.5/2.0/1.0	自動フォールバック
	伝送距離	屋外：50m(11Mbps)～115m(1Mbps) 屋内：25m(11Mbps)～50m(1Mbps)	環境により変動
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）	
	セキュリティ	ESS-ID、WEP/128bit WEP	
ヒューマンインタフェース		状態表示LED×2	
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT互換機	
利用可能OS		Windows® Millennium edition日本語版 Windows® 98日本語版 Windows® 98 Second Edition日本語版 Windows® XP日本語版（※2） Windows® 2000 Professional日本語版	
電源		DC5V×300mA	パソコンから給電
消費電力		約1.5W（最大）	
外形寸法（mm）（W×H×D）		約54×9×119	
質量		約0.06kg	
動作環境		温度0～40℃　湿度10～90％	結露しないこと

※1　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。
※2　単体で購入された場合は、WARPSTARベースに添付されているCD-ROM収録のソフトウェア、または最新のバージョンのソフトウェアを使用して設定を行ってください。

8-2 別売りオプション

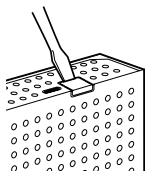
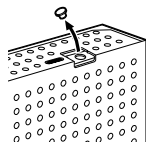
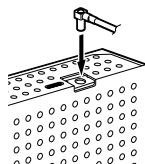
ワイヤレス LAN セットのオプションとして次の製品を別売しています。

■ ワイヤレス LAN カード
Aterm WL11CB（PC-WL/11C(B)）
Aterm WL11CA（PC-WL/11C(A)）
Aterm WL11C（PC-WL/11C）
子機として増設できます。
※ WL11C での暗号化は通常の WEP（40bit）になります。

■ ワイヤレス LAN USB ボックス
Aterm WL11U（PC-WL/11U）
Aterm WL11U（W）（PC-WL/11U（W））
子機として増設できます。
パソコンと USB で接続します。

■ ワイヤレス LAN ETHERNET ボックス
Aterm WL11E（PA-WL/11E）
子機として増設できます。
パソコンと ETHERNET ケーブルで接続します。

■ ワイヤレス LAN 外部アンテナ（PA-WL/ANT1）
電波状態が悪いときなど、親機または子機に接続して使用します。
ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）

● WB7000H とワイヤレス LAN 外部アンテナを接続する場合

①マイナスドライバなどを使ってアンテナコネクタカバーを取りはずす。（アンテナコネクタカバーは、一度取りはずすと元にもどせません。）

②アンテナコネクタ部分のゴムキャップをはずす。

③外部アンテナ（PA-WL/ANT1）コネクタを垂直に差し込む。

8-3 お問い合わせ・アフターサービス

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ホームページ「Aterm Station」

インフォメーションサービス

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

8
付録

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

8-4 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付の CD-ROM（「ユーティリティ集」）に収録されている「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

用語	解説
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速（下り 1.5 〜 12Mbps）で安価な常時接続環境を提供する。
AtermStation（エータームステーション）	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は http://121 ware.com/aterm/（平成 14 年 7 月現在）。
BIGLOBE（ビッグローブ）	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像／音声をのせるテレビ放送。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレス等必要な情報を自動的に割り振る方法です。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能です。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。 光ファイバでは最大で毎秒 100Mbps のスピードでコンピュータのデータ、映像、音声などの情報を流すことが可能です。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例： 192.168.0.10）。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoA	PPP over ATMの略。高速交換システムで使用されるATM（Asynchronous Transfer Mode）の上でPPP通信を行うための接続方式です。ATM上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行います。 ADSLでもPPPoEと並び使用される通信方式です。
PPPoE	PPP over ETHERNETの略。ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術です。ETHERNET上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行います。
UPnP	Universal Plug & Play（ユニバーサルプラグアンドプレイ）の略で、XML技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式です。 ユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)とは、デバイスのプラグアンドプレイ(PNP)機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にするものです。

【あいうえお順】
【あ行】

アップリンクポート	カスケード接続用ポートとも呼びます。100BASE-TX/10BASE-Tの接続の方向を示すもので、インターネットやWANなどの上位ハブを接続する方向をアップリンクといいます。アップリンクがないハブではクロス変換アダプタ／ケーブルを使ったり変換コネクタを使って切り替えます。

【か行】

クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。

【さ行】

サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。

【は行】

プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束事。

【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

8-5 索引

[数字]

[A ～ Z]

[ア行]

[カ行]

[サ行]

［タ行］

［ナ行］

［ハ行］

8
付録

[マ行]

[ヤ行]

[ラ行]

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

安心の保守サービス体制

Aterm(エーターム)インフォメーションセンター

この取扱説明書は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

ND-23055（J）-1
2002年10月

NECアクセステクニカ株式会社
Aterm WB7000H取扱説明書　第1版